一般社団法人　九州経済連合会

第 65 回定時総会　資料

≪ 決 議 事 項 ≫

第１号議案　　2024 年度 収支決算（案）

第２号議案　　理事・監事 選任（案）

≪ 報 告 事 項 ≫

報告事項１　　2024 年度 事業報告

報告事項２　　2025 年度 事業計画 及び 収支予算

第１号議案

2024年度 収支決算（案）

財 務 諸 表

（2024年4月1日～2025年3月31日）

１．貸借対照表
２．正味財産増減計算書
３．財産目録
４．財務諸表に対する注記
５．収支計算書

一般社団法人　九州経済連合会

1. 貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在　　（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
Ⅰ.資 産 の 部			
1.流 動 資 産			
現 金 預 金	67,174,815	80,733,637	△ 13,558,822
未 収 金	4,063,059	248,290	3,814,769
立 替 金		89,280	△ 89,280
流 動 資 産 合 計	71,237,874	81,071,207	△ 9,833,333
2.固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産 合 計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 預 金	178,227,000	168,227,000	10,000,000
運 営 準 備 引 当 預 金	162,500,000	182,500,000	△ 20,000,000
周 年 事 業 引 当 預 金	23,000,000	23,000,000	0
減 価 償 却 引 当 預 金	10,036,979	12,320,877	△ 2,283,898
特 定 資 産 合 計	373,763,979	386,047,877	△ 12,283,898
(3) その他の固定資産			
備 品 什 器	11,610,745	2,532,893	9,077,852
入 居 保 証 金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	21,917,473	12,839,621	9,077,852
固 定 資 産 合 計	395,681,452	398,887,498	△ 3,206,046
資 産 合 計	466,919,326	479,958,705	△ 13,039,379
Ⅱ.負 債 の 部			
1.流 動 負 債			
未 払 金	1,497,076	5,336,873	△ 3,839,797
預 り 金	703,814	1,360,510	△ 656,696
前 受 金	150,000	0	150,000
流 動 負 債 合 計	2,350,890	6,697,383	△ 4,346,493
2.固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	178,227,000	168,227,000	10,000,000
固 定 負 債 合 計	178,227,000	168,227,000	10,000,000
負 債 合 計	180,577,890	174,924,383	5,653,507
Ⅲ.正 味 財 産 の 部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	286,341,436	305,034,322	△ 18,692,886
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(195,536,979)	(217,820,877)	22,283,898
正 味 財 産 合 計	286,341,436	305,034,322	△ 18,692,886
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	466,919,326	479,958,705	△ 13,039,379

2. 正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで　　（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	645,471	523,014	122,457
②受取入会金			
受取入会金	1,050,000	1,400,000	△ 350,000
③受取会費			
受取会費	293,507,500	295,195,000	△ 1,687,500
④雑収益			
雑収益	1,727,273	1,567,368	159,905
経常収益計	296,930,244	298,685,382	△ 1,755,138
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	102,428,171	108,818,488	△ 6,390,317
総会役員会費	7,715,559	8,517,600	△ 802,041
会員懇談会費	4,829,211	4,945,028	△ 115,817
委員会費	41,295,865	44,913,925	△ 3,618,060
調査費	5,856,940	2,755,908	3,101,032
刊行費	4,830,351	4,988,879	△ 158,528
旅費交通費	8,267,968	8,733,060	△ 465,092
通信費	2,276,087	1,933,815	342,272
図書資料費	581,451	1,007,196	△ 425,745
加盟団体費	2,628,090	2,182,000	446,090
特別事業費	21,151,152	16,075,010	5,076,142
研修費	193,880	397,350	△ 203,470
交際費	232,712	311,345	△ 78,633
印刷費	1,571,897	1,912,954	△ 341,057
消耗品費	122,007	203,903	△ 81,896
諸税	203,898	190,658	13,240
雑費	98,770	65,304	33,466
②管理費			
役員報酬	19,000,000	18,405,050	594,950
退職給付費	0	4,444,000	△ 4,444,000
福利厚生費	25,462,467	24,198,913	1,263,554
家賃	36,216,344	36,005,143	211,201
備品費	12,134,909	9,313,253	2,821,656
修繕費	6,891,357	3,156,582	3,734,775
減価償却費	1,634,044	905,289	728,755
経常費用計	305,623,130	304,380,653	1,242,477
当期経常増減額	△ 8,692,886	△ 5,695,271	△ 2,997,615

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	0	4,444,000	△ 4,444,000
経常外収益計	0	4,444,000	△ 4,444,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	10,000,000	11,944,000	△ 1,944,000
経常外費用計	10,000,000	11,944,000	△ 1,944,000
当期経常外増減額	△ 10,000,000	△ 7,500,000	△ 2,500,000
当期一般正味財産増減額	△ 18,692,886	△ 13,195,271	△ 5,497,615
一般正味財産期首残高	305,034,322	318,229,593	△ 13,195,271
一般正味財産期末残高	286,341,436	305,034,322	△ 18,692,886
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	286,341,436	305,034,322	△ 18,692,886

3. 財　産　目　録

2025年3月31日現在　　（単位：円）

	金	額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	412,319		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	58,783,194		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	7,979,302		
未収金			
第75回九州経済懇談会各社負担分他	4,063,059		
流動資産合計		71,237,874	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	178,227,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	162,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	23,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	10,036,979		
特定資産合計	373,763,979		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、電気設備他	11,610,745		
入居保証金			
電気ﾋﾞﾙ共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	21,917,473		
固定資産合計		395,681,452	
資産合計			466,919,326
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
国内及び海外出張精算他	1,497,076		
預り金			
3月分給与における源泉住民税他	703,814		
前受金			
2025年度分年会費	150,000		
流動負債合計		2,350,890	
2. 固定負債			
退職給付引当金	178,227,000		
固定負債合計		178,227,000	
負債合計			180,577,890
正味財産合計			286,341,436

4. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。
(2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。
(3) 引当金の計上基準
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。
・退職給付引当金・・・・・役員並びに職員の期末自己都合要支給額の100%
(4) リース取引の処理方法
・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
(5) 消費税等の会計処理
消費税は税込み処理を選択している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小　　計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	168,227,000	10,000,000	0	178,227,000
運営準備引当預金	182,500,000	0	20,000,000	162,500,000
周年事業引当預金	23,000,000	0	0	23,000,000
減価償却引当預金	12,320,877	1,634,044	3,917,942	10,036,979
小　　計	386,047,877	11,634,044	23,917,942	373,763,979
合　　計	386,047,877	11,634,044	23,917,942	373,763,979

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	178,227,000	0	0	178,227,000
運営準備引当預金	162,500,000	0	162,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	0	23,000,000	0
減価償却引当預金	10,036,979	0	10,036,979	0
小　　計	373,763,979	0	195,536,979	178,227,000
合　　計	373,763,979	0	195,536,979	178,227,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	25,565,666	13,954,921	11,610,745
合　　計	25,565,666	13,954,921	11,610,745

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

有 価 証 券 （証 券 会 社）	帳簿価額	時　　価	評価損益
福岡県令和4年度第1回公募公債（野村証券㈱）	20,000,000	18,561,120	△ 1,438,880
福岡市2022年度第8回公募公債（野村証券㈱）	10,000,000	9,506,880	△ 493,120
モルガン・S 株価指数連動債（みずほ証券㈱）	50,000,000	47,450,000	△ 2,550,000
福岡県令和5年度第1回公募公債（みずほ証券㈱）	10,000,000	9,404,000	△ 596,000
福岡県令和3年度第3回公募公債（MUMS証券㈱）	30,000,000	27,860,100	△ 2,139,900
福岡県令和4年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	9,284,400	△ 715,600
福岡県令和5年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	9,415,800	△ 584,200
合　　計	140,000,000	131,482,300	△ 8,517,700

５．　収　　支　　計　　算　　書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	500,000	645,471	△ 145,471	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,050,000	450,000	入会22社
会費収入				
会費収入	295,520,000	293,507,500	2,012,500	退会36社
雑収入				
受取利息収入	10,000	5,265	4,735	
その他収入	1,350,000	1,722,008	△ 372,008	広告掲載料、事務委託費
事業活動収入計(A)	**298,880,000**	**296,930,244**	**1,949,756**	
２．事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	104,700,000	102,428,171	2,271,829	
総会役員会費支出	7,200,000	7,715,559	△ 515,559	会場費増
会員懇談会費支出	5,300,000	4,829,211	470,789	
委員会費支出	48,700,000	41,295,865	7,404,135	補助金活用、会場費等節約
調査費支出	4,800,000	5,856,940	△ 1,056,940	台湾視察（臨時）
刊行費支出	4,800,000	4,830,351	△ 30,351	
旅費交通費支出	9,400,000	8,267,968	1,132,032	
通信費支出	2,200,000	2,276,087	△ 76,087	
図書資料費支出	1,000,000	581,451	418,549	
加盟団体費支出	2,500,000	2,628,090	△ 128,090	
特別事業費支出	20,000,000	21,151,152	△ 1,151,152	訪問団受入
研修費支出	500,000	193,880	306,120	
交際費支出	500,000	232,712	267,288	
印刷費支出	2,500,000	1,571,897	928,103	ペーパレス推進
消耗品費支出	500,000	122,007	377,993	
諸税支出	300,000	203,898	96,102	
雑支出	200,000	98,770	101,230	
事業費支出計(B)	**215,100,000**	**204,284,009**	**10,815,991**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	19,000,000	0	
福利厚生費支出	25,900,000	25,462,467	437,533	
家賃支出	35,900,000	36,216,344	△ 316,344	
備品費支出	10,000,000	12,134,909	△ 2,134,909	機器リース更新
修繕費支出	11,000,000	6,891,357	4,108,643	什器備品へ振替
管理費支出計(C)	**101,800,000**	**99,705,077**	**2,094,923**	
事業活動支出計(D)=(B)＋(C)	**316,900,000**	**303,989,086**	**12,910,914**	
事業活動収支差額(E)＝(A)－(D)	**△ 18,020,000**	**△ 7,058,842**	**△ 10,961,158**	

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
運営準備引当預金取崩収入	20,000,000	20,000,000	0	
減価償却引当預金取崩収入	0	3,917,942	△ 3,917,942	事務所改修費に充当
投資活動収入計(F)	**20,000,000**	**23,917,942**	**△ 3,917,942**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000	
減価償却引当預金取得支出	900,000	1,634,044	△ 734,044	
什器備品取得支出	5,000,000	10,711,896	△ 5,711,896	修繕費より振替
投資活動支出計(G)	**14,900,000**	**22,345,940**	**△ 7,445,940**	
投資活動収支差額(H)＝(F)-(G)	**5,100,000**	**1,572,002**	**3,527,998**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	**0**	**0**	**0**	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	**0**	**0**	**0**	
財務活動収支差額(K)＝(I)-(J)	**0**	**0**	**0**	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M)＝(E)＋(H)＋(K)-(L)	**△ 12,920,000**	**△ 5,486,840**	**△ 7,433,160**	
前期繰越収支差額(N)	**74,373,824**	**74,373,824**	**0**	
次期繰越収支差額(O)＝(M)＋(N)	**61,453,824**	**68,886,984**	**△ 7,433,160**	

（注）　１．収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ）に示された3区分の様式により作成している。
２．借入金限度額（該当なし）
３．債務負担額（該当なし）

収支計算書に対する注記

１．重要な会計方針

資金の範囲について・・・現金預金、立替金、未収金、未払金、預り金、前受金を含める。

２．次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	80,733,637	67,174,815
立 替 金	89,280	0
未 収 金	248,290	4,063,059
合　　計	81,071,207	71,237,874
未 払 金	5,336,873	1,497,076
預 り 金	1,360,510	703,814
前 受 金	0	150,000
合　　計	6,697,383	2,350,890
次期繰越収支差額	74,373,824	68,886,984

監　査　報　告　書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、2024年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。

その結果、

(1)　財産の状況に関し、2024年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。

(2)　理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

2025年 6 月 22 日

一般社団法人　九州経済連合会

監　事　道永幸典

監　事　和田あずさ

第２号議案

理 事 ・ 監 事 選 任（案）

（　○印は新任　）

■ 理 事 選 任（案）

一般社団法人 九州経済連合会
（敬称略 氏名五十音順）

	麻　生　　泰	(あそう ゆたか)	麻生セメント㈱	会　　長
	池　内　比呂子	(いけうち ひろこ)	㈱テノ．ホールディングス	社　　長
○	池　辺　和　弘	(いけべ かずひろ)	九　州　電　力　㈱	社　　長
	石　坂　淳　子	(いしざか あつこ)	㈱　ひ　よ　子	社　　長
	石　橋　達　朗	(いしばし たつろう)	国立大学法人九州大学	総　　長
○	今　村　　弘	(いまむら ひろし)	九州電力送配電㈱	社　　長
	大　浦　敬　子	(おおうら けいこ)	㈱おとなの学校	代表取締役
	小笠原　　浩	(おがさわら ひろし)	㈱　安　川　電　機	会　　長
○	笠　原　慶　久	(かさはら よしひさ)	㈱　肥　後　銀　行	頭　　取
	上　村　基　宏	(かみむら もとひろ)	㈱ 鹿 児 島 銀 行	会　　長
	唐　池　恒　二	(からいけ こうじ)	九州旅客鉄道㈱	相　談　役
○	清　田　徳　明	(きよた のりあき)	Ｔ　Ｏ　Ｔ　Ｏ　㈱	会　　長
	倉　富　純　男	(くらとみ すみお)	西 日 本 鉄 道 ㈱	会　　長
	後　藤　富一郎	(ごとう とみいちろう)	㈱　大　分　銀　行	会　　長
	坂　井　秀　明	(さかい ひであき)	㈱　佐　賀　銀　行	頭　　取
	佐　藤　清一郎	(さとう せいいちろう)	㈱　筑　邦　銀　行	会　　長

柴　戸　隆　成（しばと　たかしげ）	㈱　福　岡　銀　行	会　　長
杉　田　浩　二（すぎた　こうじ）	㈱　宮　崎　銀　行	頭　　取
田　中　　徹（たなか　とおる）	(一社)九州経済連合会	常務理事
長　木　哲　朗（ちょうき　てつろう）	トヨタ自動車九州㈱	社　　長
中　田　昌　宏（なかた　まさひろ）	日　本　製　鉄　㈱	常務執行役員 九州製鉄所長
藤　井　一　郎（ふじい　いちろう）	㈱　九　電　工	会　　長
堀　江　広　重（ほりえ　ひろしげ）	(一社)九州経済連合会	専務理事
右　田　聖　秀（みぎた　まさひで）	西日本電信電話㈱	執行役員 九州支店長
椋　梨　敬　介（むくなし　けいすけ）	㈱山口フィナンシャルグループ	社　　長
村　上　英　之（むらかみ　ひでゆき）	㈱西日本シティ銀行	頭　　取
米　良　充　典（めら　みつのり）	米良電機産業㈱	会　　長
本　永　浩　之（もとなが　ひろゆき）	沖　縄　電　力　㈱	社　　長
森　　拓二郎（もり　たくじろう）	㈱十八親和銀行	会　　長
依　田　直　久（よだ　なおひさ）	㈱ブリヂストン	首席主幹 創業地区渉外責任者

（以上 30 名）

■ 監 事 選 任(案)

一般社団法人 九州経済連合会
（敬称略 氏名五十音順）

道　永　幸　典（みちなが　ゆきのり）	西部ガスホールディングス㈱	会　　長
和　田　あずさ（わだ　あずさ）	㈱ＮＴＴドコモ	執行役員 九州支社長

（以上２名）

報告事項１

2024 年度

事 業 報 告

第　64　号

一般社団法人　九州経済連合会

目　次

はじめに・・ **2**

Ⅰ　主な活動・・ **3**
＜2024 年度　主な事業の KPI＞

Ⅱ　総会･役員会等・・ **9**
総会、理事会、役員会等
会員懇談会等

Ⅲ　委員会活動・・ **11**
資源エネルギー・環境委員会
産業振興・デジタル推進委員会
地域共創委員会
交通委員会
関門連携委員会
地域委員会

Ⅳ　国内外の団体等との活動･経済交流等・・ **17**
九州地域戦略会議
経済団体等との懇談
海外との経済交流

Ⅴ　関連協議会等の活動・・ **20**
西日本経済協議会
九州航空宇宙開発推進協議会
知的財産権研究会
九州 IR 推進協議会
九州国際医療機構
九州の食輸出協議会
東九州軸推進機構
下関北九州道路建設促進協議会
九州経済国際化推進機構
福岡地域戦略推進協議会
九州大学学術研究都市推進協議会
九州エネルギー問題懇話会
九州・沖縄地方産業競争力協議会
九州・沖縄文化力推進会議
九州ＤＸ推進コンソーシアム

Ⅵ 事務局の取組 ・・ **25**

Ⅶ 本会要望･意見等 ・・ **26**

はじめに

本会では、2021 年 4 月の創立 60 周年を機に公表した、『九州将来ビジョン 2030』（共生・共感・共創アイランド九州　～成長と心の豊かさをともに）に基づき、2024 年度は第 2 期中期事業計画（2024～26 年度）の初年度として、「11 の重点戦略」（後掲）に沿った事業に取り組んだ。

第 1 に、九州の強みを活かしながら成長エンジンを伸ばしていく取組である。新生シリコンアイランド九州の実現に向け、九州地域戦略会議においてグランドデザインを策定し（2024.6 月）、農林水産業の振興と輸出拡大へ向けて、九州・山口の官民共同プロモーションとして海外 3 ヵ国・地域において 5 度の九州フェアを開催するなど、多岐にわたる取組を実施した。

第 2 に、地方創生 2.0 の追い風をとらえ、若者・女性に選ばれる地域づくりを推進するため、九州・山口の各県知事・経済 4 団体トップが「こどもまんなか九州」を宣言する（2024.6 月）など、多様な活動を行った。また、成長と分配の好循環を実現するため、九州全域での賃上げ機運醸成に向けて、九州経済 4 団体が共同で、九州・山口各県に賃上げ企業への支援拡充を働きかけた（2024.6 月）。

第 3 に、九州の産学官のまとまりの良さを活かし、ハード・ソフト両面からインフラ整備を推進するため、九州 MaaS の協議会設立総会を開催し（2024.4 月）、サービスを開始した（2024.8 月～）。また、デジタルを活用した災害対策の高度化に向けて、県境をまたぐ広域連携の実証などを行った。

近年の物価上昇や人手不足による地域経済への影響が懸念されている中、米国による関税措置の影響など経済環境は厳しさを増している。一方で、半導体関連の設備投資や賃上げなど明るい動きも継続している。

本会は今後も、九州から改革・イノベーションをいかに起こすか、会員の皆様と知恵を絞りながら、「九州から日本を動かす」モデルとなる先導的な取組を進めていきたい。

Ⅰ　主な活動

【重点戦略１】「新生シリコンアイランド九州」の実現



2024.6 月　新生シリコンアイランド九州グランドデザイン

・「新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州」実現へ、全体像・課題を整理

- 九州地域戦略会議において「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」策定、あわせて官民協議体設置を決定（2024.6月）
- 新生シリコンアイランド九州情報連絡会を開催（2024.8月、2025年3月）
- 九経連・半導体戦略専門部会を開催（2024.9月・11月、2025年1月）


2025.2 月　台湾訪問団

・台湾企業との協業支援、海外ミッション派遣

- 1st Taiwan-Japan Global Partnership Semiconductor and Innovation Startup Forumを開催（2024.12月）
- 九州地域戦略会議・台湾訪問団を派遣（2025.2月）

【重点戦略２】各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援


2024.10 月　企業タイアップセミナー

・地域 DX 促進活動支援事業の実施

- 54社を支援（九州DX推進コンソーシアムを活用）

・各地域の DX 支援活動の実情や課題の確認

- 地域特性やニーズ・課題等を確認。共通する課題は、「人材（社内/外）」「情報」「資金」

・食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーション

- 海外現地系小売店での九州フェア開催
  （3ヵ国・地域/5件、イオン・カンボジア、台湾・大潤發、米国・PPIH　等）



2024.6 月 ひむか農園 視察（日向市）

・農業の多様な担い手確保と生産性向上支援

- 農業体験者の拡大（企業研修への農業カリキュラム導入や、援農アプリ活用、8社が農業労働力支援を実施、企業による農業労働力支援スキーム研究）
- 九州各県と連携し、企業の農業参入セミナーを経団連と共催（経団連会館、参加者75名） （2024.10月）
- 耕作放棄地活用研究（企業参入事例調査５か所と、企業参入成功要因分析）

・九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約・活用

- 林業活性化取組みモクビル研究会開催（３回）
- 木造非住宅建築需要拡大広報ツール作成
  木造建築呼びかけチラシ、パンフレット配布（2025.2月）

【重点戦略３】GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組



2024.11 月 脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ

・技術保有企業と自治体の脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ共催

- 佐賀・沖縄の2会場で開催。自治体約20箇所、企業約50社が参加 （2024.11月）

・ESG 投融資の拡大に資する県域を越えるﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの組成

- インパクト志向投融資に関する宣言や事例の共有に向けた協議等を実施 （2024.９月、2025.3月）

・再エネ主力電源化や原子力最大限活用、水素の利活用等の国要望

- 国が進める「第7次エネルギー基本計画」策定に対して西日本の経済団体４団体と連名で提言 （2024.8月）

【重点戦略４】産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援



2024.12 月 九州・山口ベンチャーマーケット

・九州域外からの資金調達支援

- StartupGo!Go!（後援）を実施 （2024.10月）

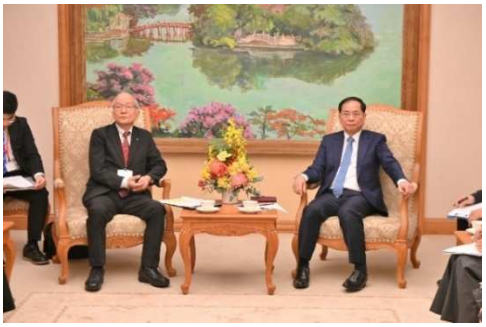
・域外への九州発スタートアップの魅力の発信

- 九州・山口ベンチャーマーケット（KVM）を実施 （2024.12月）

・ベンチャーキャピタルや投資ファンド等との連携及び支援

- VENTURE CAFÉ FUKUOKAへの参加 （2024.11月～）

【重点戦略５】アジア地域諸国・世界との連携強化



ベトナム副首相兼外務大臣との面談
（2025 年 3 月、ハノイ）

・ベトナム経済交流ミッションの派遣

- 19社・34名が参加。現地での九州の知名度向上に向けた取り組み、中央政府機関・地方行政機関等とのネットワークの構築、ビジネス関係の人脈づくり等を実施
（2025.3月）

・九州プロモーションセンターin ハノイ(K.P.C.)のプロモーション

- 四季報掲載（2024.夏号）、ハノイでの「福岡市企業誘致セミナー」でのプレゼン（2024.6月）、「ベトナム進出に向けた最新動向・食品販路拡大ウェビナー」（2025.2月）など、国内外でKPCのプロモーションを実施
（月間平均900名が来場）

・World One Health Congress 2028等国際会議誘致支援

- 福岡県の開催地正式立候補に向けた取り組みを支援
（2024.8月）

【重点戦略６】産学官連携による高度専門人材の育成支援



2024.12 月 先導的 ICT 人材育成事業 第 1 回成果報告会

・「受入企業・参加学生の拡大方法」「ｽｷｰﾑ・運営方法」等の課題整理を行い、実施スキームを策定

- インターンシップを実施し、13社・15名が参加
（2024.8月～2025.3月）

【重点戦略７】九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組



2024.6 月 九州地域戦略会議

・九州地域戦略会議への九州経済４団体共同の取組報告、九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ

- 九州地域戦略会議において各県へ働きかけを実施
（2024.6月）
- 九州経済4団体が価格転嫁に関する共同宣言
（2025.2月）
- 九州経済懇談会（経団連との昼食懇談会）にて、上記宣言を報告し、オールジャパンでの機運を醸成
（2025.3月）

【重点戦略８】多様性・包摂性ある風土の醸成



2025.3 月「WE-Net 九州」第一回定例会

・オール九州でのジェンダー平等推進

- 第45回九州地域戦略会議にて「こどもまんなか九州」宣言を決議
  （同会議の次期ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝの具体策として、
  “男性育休取得促進”を提案）　（2024.6月）

・女性管理職ネットワーク「WE-Net 福岡」の九州広域化

- 旧・WE-Net福岡の事務局を九経連へ移管、
  WE-Net「九州」の研修会を開催、40名が参加
  （2024.12月～）

・九経連の全企画部会等への会員企業女性管理職の参画促進

- 九経連の6つの部会に12名の女性管理職が参画、九経連活動への更なるダイバーシティ視点の取り込み促進　（2024.6月～）

【重点戦略９】ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進



2025.6 月　九州地域戦略会議
（8 月「九州 MaaS」始動を発表）

・事業化・事業の早期実現に向けた要望活動等

- 「九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望」他、政府等への要望活動の実施　（2024.8月）

・九州広域データ連携プラットフォーム（QDP）の検討

- QDP検討会を計4回開催し、QDPの在り方やユースケースについて、委員（自治体・経済団体）と議論
  （2024.4月～2025.2月）

・オープン/パーソナルデータのユースケース検討

- 防災、観光の２分野についてワーキンググループを設置・開催（各分野３回）し、ユースケースを議論
  （2024.9月～2025.1月）

・九州 MaaS「協議会」設立、「サービス」開始

- 2024.4月　(一社)九州MaaS協議会の設立総会を開催、2024.8月～　サービスを開始

【重点戦略 10】地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援



2025.3 月　合同勉強会
（九州地域戦略会議　安全・安心 PT）

・災害情報活用の高度化、共同利用による広域連携へ向けた PoC/概念実証の実施

- 広域連携の実証を５件実施
  （県境をまたぐ広域災害への備えとして、災害情報活用ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「PREIN」を活用し、災害対応業務への活用や、受援・支援等の相互連携の検討材料とする為）

・瞬低、瞬停のリスク低減へ、落雷予測技術の有効性検証

- 予測情報サービスの実証を4社 6 工場で実施
  （2024.8～10月）

・サービスの企画・検討（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ活用）

- 企画・PoCの準備を2件実施

【重点戦略 11】九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決



2024.10 月　ツール・ド・九州

・ツール・ド・九州の 2024 大会開催と、持続可能な運営を支援

- 2024大会：観客数101千人、経済波及効果26.5億円
- 2025大会について、3県から5県へ開催拡大が決定
  （2024.10月）

・大会をフックとした地域活性化事業の協業支援

- 2024大会の開催3県において、地域活性化事業を実施
  （高校生向け探究学習プログラム「Locus」、参加高校生391名、協力企業数24社・3団体）
  （2024.5～2025.3 月）

・外国人材活躍による人材確保施策の推進

- 人材確保に資する取組4件を実施
  （九州高度外国人材活躍地域コンソーシアムとの連携）
  （2024.10～2025.3 月）

・交流・関係人口拡大に向けた取組

- 地域資源活用モデルを 2ｴﾘｱで創出

2024 年度 主な事業の KPI

11 の重点戦略 （2024～26 年度）	**主な活動（2024 年度）** ※【継】昨年度から継続　【新】今年度新規性有り	**主なＫＰＩ、達成状況**（2024 年度 3 月末） ◎:達成　▲:未達成
1.新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州の実現 ~半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組	▷「新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州」実現へ、全体像・課題を整理【新】 ▷台湾企業との協業支援、海外ミッション派遣【新】	▷協議体設置（6 月戦略会議）・WG 始動 ◎[情報連絡会 始動（8 月、戦略会議）、半導体戦略専門部会 始動（9 月、九経連）] ▷協業モデル構築 ▲[日台協業のﾌｫｰﾗﾑ開催（12 月）、日台協業の枠組み構築・協業開始は次年度予定]
2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	▷「地域 DX 促進活動支援事業」の実施【継】 ▷海外小売店での九州フェア開催（各県出品拡大）【継】 ▷企業研修への農業カリキュラム導入や援農アプリ活用【継】 ▷耕作放棄地の活用モデルの検討【新】 ▷中山間地における「スマート農業導入モデル」各県展開【継】 ▷九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約・活用【継】	▷支援企業 25 社 ◎[54 社] ▷九州フェア開催 5ヵ国・地域 ▲[3ヵ国・地域（5 件）] ▷農業労働力支援企業 3 社 ◎[8 社] ▷（◎耕作放棄地優良事例調査 5 件） ▷モデル活用事例 3 件 ◎[3 件] ▷木造非住宅の新規計画 1 件以上 ▲[0 件]
3. GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	▷技術保有企業と自治体の脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ共催【継】 ▷ESG 投融資の拡大に資する県域を越えるﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの組成【継】 ▷再エネ主力電源化や原子力最大限活用、水素の利活用等の国要望【継】	▷選定地域 3 件/1 回　◎[3 件] ▷広域連携ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ組成 1 件 ▲[0 件]
4．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	▷九州域外からの資金調達支援【継】 ▷域外への九州発スタートアップの魅力の発信【継】 ▷ﾍﾞﾝﾁｬｰｷｬﾋﾟﾀﾙや投資ﾌｧﾝﾄﾞ等との連携及び支援【継】	▷資金調達率全国比 3.5% ▲[2.89%（第 2Q 時点）] （出所：Japan Startup Finance 2024）
5．アジア地域諸国・世界との連携強化	▷ベトナム経済交流ミッションの派遣（2025.3）【継】 ▷九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ in ﾊﾉｲ(KPC)のプロモーション【継】 ▷World One Health Congress 2028等国際会議誘致支援【新】	▷参加企業 20 社 50 名 ▲[19 社 34 名] ▷KPC 月間来場者 1,200 名 ▲[約 900 名]
6.産学官連携による高度専門人材の育成支援	▷「受入企業・参加学生の拡大方法」「ｽｷｰﾑ・運営方法」等の課題整理を行い、実施スキームを策定【継】	▷ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加 13 社/22 名 ▲[13 社/15 名] 九州広域への拡大スキームの策定 ▲［ｽｷｰﾑ策定未達］（企業・大学の個別訪問のみ）
7. 九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組	▷九州地域戦略会議への九州経済四団体共同の取組報告、九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ【新】	▷九州全県での支援拡充 ▲[5 県が拡充]
8. 多様性・包摂性ある風土の醸成	▷九州目線でのジェンダー平等推進へ、法整備提言【新】 ▷女性管理職ﾈｯﾄﾜｰｸ「WE-Net 福岡」の九州広域化【新】 ▷全企画部会等への会員企業女性管理職の参画促進【新】	▷取組方針を変更　◎[九州地域戦略会議「こどもまんなか九州」宣言～次期ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ策定へ] ▷WE-Net「九州」研修会 2024.12 開始 ◎[12 月開始 40 名参加] ▷女性管理職の参画 10 名以上 ◎[12 名/6 部会]
9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	▷事業化・事業の早期実現に向けた大会開催等【継】 ▷「九州広域ﾃﾞｰﾀ連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ（QDP）」の検討【継】 ▷オープン/パーソナルデータのユースケース選出、PoC 等の実施による課題整理【継】 ▷デジタル認証 ID 導入へ、サービスを比較検討【継】 ▷九州 MaaS「協議会」設立、「ｻｰﾋﾞｽ」開始【継】	▷要望事業の着実な整備進捗 ◎[実施済] ▷データ連携基盤の在り方の決定 ▲[未決定] ▷ユースケースの決定 ▲[未決定] ▷デジタル認証 ID の決定 ▲[未決定] ▷設立総会：4 月、ｻｰﾋﾞｽ開始：8月頃◎[8/1 開始]
10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	▷災害情報活用における広域連携へ、PoC 実施【継】 ▷瞬低・瞬停ﾘｽｸ低減へ、落雷予測技術の有効性検証【継】 ▷サービスの企画・検討（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ活用）【継】	▷広域連携の実証 2 件以上 ◎[5 件] ▷予測情報サービス実証 5 社 ◎[4 社 6 工場] ▷企画・PoC 準備 1 件 ◎[2 件]
11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷ツール・ド・九州 2024 と持続可能な運営を支援【継】 ▷大会をフックとした地域活性化事業の協業支援【継】 ▷外国人材活躍による人材確保施策の推進【新】 ▷交流・関係人口拡大に向けた取組【継】	▷2025 大会開催県拡大 ◎[3→5 県] ▷地域活性化事業×開催 3 ｴﾘｱ ◎[3 ｴﾘｱ] ▷人材確保に資する取組 ◎4 件（期中に設定） ▷地域資源活用ﾓﾃﾞﾙ創出 x 2 ｴﾘｱ ◎[2 ｴﾘｱ]

Ⅱ 総会・役員会等

総会、理事会、役員会等

開催日	会合名	内 容
総会		
2024/06/06	第 64 回定時総会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：2023 年度収支決算(案) 第 2 号議案：理事、監事選任(案) 報告事項①：2023 年度事業報告 報告事項②：2024 年度事業計画及び収支予算 ＜特別講演会＞ テーマ：サーキュラーエコノミー ～循環経済がビジネスを変える～ 講 師：東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 価値創成部門教授 梅田 靖 氏
理事会		
2024/05/08	第 177 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：審議員、諮問委員、顧問選任案 第 2 号議案：2023 年度事業報告(案) 第 3 号議案：2023 年度収支決算（案) 第 4 号議案：第 64 回定時総会の招集 及び 会議の目的事項(案) 報告事項 ：・今後の主要スケジュール ・企業による農業労働力支援の ご協力について
2024/06/06	第 178 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：副会長選任(案) 第 2 号議案：諮問委員 顧問選任(案) 第 3 号議案：産業振興・デジタル推進委員会 産業部会「半導体戦略部会」の 新設（案）
2024/10/02	第 179 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：審議員、諮問委員、顧問選任案
2025/03/26	第 180 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：諮問委員選任案 第 2 号議案：事務局長選任案 第 3 号議案：2025 年度事業計画(案) 第 4 号議案：2025 年度収支予算(案) 報告事項 ：今後の主要スケジュール
正副会長・委員長会議		
2025/01/29	正副会長・委員長会議 (福岡市)	＜懇談＞ 2025 年度事業計画 主要事業（案）について 報告事項①：第 75 回九州経済懇談会 報告事項②：今後の主要スケジュール
顧問会		
2024/12/09	顧問会（東京）	＜懇談＞ 2024 年度主要事業の取り組み状況について
理事・審議員合同会議		
2024/10/02	理事・審議員合同会議 (福岡市)	＜議事＞ ・2024 年度上期事業進捗報告と今後の進め方 について

会員懇談会等

開催日	会合名	内 容
九州経済懇談会（経団連との懇談会）		
2025/03/12	第 75 回九州経済懇談会 （福岡市）	＜基本テーマ＞ 「九州から日本を動かす新たな価値の創出」 ＜懇談テーマ＞ ①多様な価値を生み出す九州発の取り組み ②九州の地方創生を支える基盤の整備に向けて
沖縄連携フォーラム		
2024/12/12	沖縄連携フォーラム (那覇市) ※沖縄県経済団体 会議との共催	＜報告＞ ・沖縄 GW2050 PROJECTS について GW2050 推進協議会事務局 エグゼクティブプロデューサー 比嘉 秀樹 氏 ・「人手不足時代に立ち向かう九州・沖縄」 九州経済調査協会 調査研究部 次長 松嶋 慶祐 氏 ＜パネルディスカッション＞ テーマ：九州・沖縄地域の成長力を高める 「新しい人材シェアリング」 モデレーター： 九州経済調査協会 調査研究部 次長 松嶋 慶祐 氏 パネリスト： 内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課 鈴木 圭三 氏 ㈱福地組 社長 福地 一仁 氏 パーソルテンプスタッフ㈱ 西日本営業本部 執行役員 鈴木 理裕 氏
産学連携懇談会		
2024/04/10	産学連携懇談会 (福岡市)	＜先進事例報告＞ ・「福岡大学スポーツ・健康まちづくり・コンソーシアム FU スポまち／福岡大学カーボンニュートラル推進拠点／福岡大学産学連携協議会」 福岡大学 学長 永田 潔文 氏 ・「(仮称)情報イノベーション学部 概要と特色」 北九州市立大学 学長 柳井 雅人 氏 ・「福岡工業大学の産学連携活動について」 福岡工業大学 学長 村山 理一 氏 ・「九経連における半導体関連事業」 （事務局） ＜全体討議＞ ・（前回報告 4 大学 1 高専の先進事例のフォローを含む）
新入会員交流会		
2025/01/29	新入会員交流会 (福岡市)	＜内容＞ ・新入会員による自己紹介と九経連正副会長 委員長・参加者との懇談・交流

九州女性の会		
2024/04/17	4 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：令和 6 年辰歳に奮い立て！ あなたの 運気がアップする風水家相術 講師：(一社)日本風水設計デザイン協会 代表理事 はこしま 李風 氏
2024/05/15	5 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：九州の農林水産業と輸出について 講師：九経連 地域共創部 担当部長 西山 宏人
2024/06/06	6 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 九経連第 64 回定時総会への参加
2024/07/31	7 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：放送現場リポート ～アナウンサー、 ディレクター、役員を経験して 43 年～ 講師：RKB 毎日放送㈱ 顧問 安田 瑞代 氏
2024/08/06 ～07	8 月例会 (山口市)	＜内容＞ 九州地域戦略会議 夏季セミナーへの参加
2024/09/24	9 月例会 (福岡市)	＜視察＞マリンワールド海の中道 講師：㈱海の中道海洋生態科学館 代表取締役社長 東 圭司 氏
2024/12/17	12 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：持続可能なまちづくりへ向けた国連ハビタ ットの活動 ～SDGs の達成へ向けて～ 講師：国連ハビタット福岡本部 本部長 石垣 和子 氏
2025/01/22	1 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：九州 MaaS～“共創”と“デジタル”で築く 持続可能な地域交通づくりへの挑戦～ 講師：九経連 会長 倉富 純男
2025/02/14	2 月例会 (福岡市)	＜視察＞ONE FUKUOKA BLDG. 講師：西日本鉄道㈱ 天神開発本部 福ビル街区開発部 係長 川尻 松吾 氏 田川 友理恵 氏
2025/03/12	3 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 第 75 回九州経済懇談会 （経団連と九経連との懇談会）への参加

Ⅲ 委員会活動

資源エネルギー・環境委員会

開催日	会合名	内 容
2025/03/07	2024 年度委員会 （福岡市）	＜内容＞ １．瓜生委員長挨拶 ２．講演 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房総務課 需給政策室長/調査広報室長 植田 一全 氏 「第７次エネルギー基本計画について」 ３．先進事例発表 西部ガス㈱カーボンニュートラル推進部長 稲盛 日出美 氏 「九州発！メタネーションプロジェクト」 九州電力㈱ コーポレート戦略部門 インキュベーションラボ 新世代蓄電池システム事業 課長 倉山 功治 氏 「建設機械の電動化による脱炭素と全固体電池の取組について」 ４．議事 ①2024 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告 ②2025 年度 〃 委員会 事業計画（案）
2025/01/31	2024 年度企画部会 （福岡市）	＜内容＞ １．戸上部会長挨拶 ２．講演 経済産業省 九州経済産業局 資源エネルギー環境部環境・資源循環経済課 課長 緒方 孝範 氏 「成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について」 ３．先進事例発表 ㈱ECCOMIT 営業企画部 ゼネラルマネージャー 谿 拓志 氏 「国内外における衣料品循環の動向及びECOMMIT が目指すサーキュラーエコノミー」 福岡バイオフードリサイクル㈱ 代表取締役 中川 浩臣 氏 「【JFE グループによる九州初の食品リサイクル＆バイオガス発電事業】福岡バイオフードリサイクルのご紹介」 ４．議事 ①2024 年度 資源エネルギー・環境委員会 事業報告 ②2025 年度 〃 委員会 事業計画骨子（案）
2024/9/12	第４回 九州・沖縄・山口ESG 投融資推進会議（福岡市）	＜内容＞ ①2022年度ESGファイナンス実績の再集計について ②九州版ＧＸプロジェクトリスト（案）について ③第６次環境基本計画におけるポイントについて ④(環境省 西村課長)
2025/3/14	第５回 九州・沖縄・山口ESG 投融資推進会議（福岡市）	＜内容＞ ①前回会議の振り返りについて ②インパクト志向投融資宣言と事例共有発信について ③経済産業省におけるGX施策のご紹介（九州経済産業局） ④各省庁からの情報展開・共有 ⑤その他（今後の運営についてのご相談等）
2024/4/25	第３回 カーボンニュートラル推進研究会 （福岡市）	＜内容＞ 1．講演 株式会社日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課 課長 後藤 明 氏 「地域脱炭素と日本政策投資銀行」 2．議事 研究会の方向性について
2024/10/28	第４回 カーボンニュートラル推進研究会 （福岡市）	＜内容＞ 1．講演 九州大学 大学院 工学研究院 機械工学部門 准教授 オカフォー エケネチュク チジオケ 氏 「エネルギー問題の中におけるアンモニアの立ち位置」 2．議事 研究会の方向性について

産業振興・デジタル推進委員会

開催日	会合名	内 容
2025/03/11	産業振興・デジタル推進委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・ 2024年度事業報告 ・ 2025年度事業計画（案） ＜講演＞ 「価値磨きにより活性化する九州のモノづくり」 講師：三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所 応用技術統括 山田 順治 氏 「生成 AI の最新トレンド～働き方の変化から経営者が考えるべきこと～」 講師：株式会社エクサウィザーズ 常務取締役 兼 株式会社 Exa Enterprise AI 代表取締役 大植 択真氏
2024/09/26	第１回産業振興部会 （佐賀市）	＜議題＞ ・ 2024年度 産業振興部会上期活動報告＆下期計画
2025/02/07	第２回産業振興部会 （久留米市）	＜議題＞ ・ 2024年度 産業振興部会 事業報告 ・ 2025年度 産業振興部会 事業計画(案)
2024/07/23	産業振興部会 第１回先進工場見学会	・ 株式会社安川電機
2024/09/26	産業振興部会 第２回先進工場見学会	・ 株式会社戸上電機製作所
2025/02/07	産業振興部会 第３回先進工場見学会	・ 株式会社ブリヂストン 久留米工場
2024/09/19	第1回デジタル推進部会 (福岡市＆オンライン)	＜議題＞ 第1部 ・2024年度 デジタル推進部会 上期活動報告＆下期計画 第2部 講演会「生成AIの最新動向とQTnetの取り組み事例紹介」 講師：QTnet YOKAプロ部 AI事業グループ長 佐伯 和広 氏 情報提供「九州・沖縄産学循環型のデジタル人材育成・リスキリング調査等事業」 説明 九州経済産業局デジタル推進室
2025/02/28	第2回デジタル推進部会 (福岡市＆オンライン)	＜議題＞ 第1部 ・2024年度 デジタル推進部会 活動報告 ・2025年度 デジタル推進部会 事業計画案説明 第2部 講演会「スマートシティにおけるデータ利活用」 講師：iHub Base スマートシティスペシャリスト 桑原 智宏 氏 ゼネラルコミュニティマネージャー 黒野 菜美子 氏
ベンチャー支援		
2024/12/23	九州・山口ベンチャーマーケット(KVM)2024 (福岡市)	＜内容＞ ・九州・山口ベンチャーマーケット 各県代表２社(スタートアップ)の合計 18 社が登壇 (主催：九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会)
2024/10/9-10	StartupGo!Go!2024 (福岡市)	＜内容＞ ・国内外 31 のスタートアップが優勝をかけて行う「The Pitch」を開催 (起業家万博・甲子園への出場権、NEDO「NEP開拓・躍進コース」の優遇措置・研修受講権、福岡IT スタートアップビジネス賞への出場権) (主催：(一社)Startup GoGo、後援：九経連)

2024/11/9	第24回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト (福岡市)	<内容> ・ コンテスト（1.2次審査を勝ち抜いた10組が出場） ・ 表彰式 グランプリ他の表彰 （九経連会長賞含む） (主催：九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会)
2025/2/6	第9回九州・大学発ベンチャー振興会議 (福岡市)	＜議題（報告事項）＞ ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」活動報告 ・ 大学からの報告 ・ シーズ事業化の進捗状況 ・ シーズの製品化状況 ・ 企業ニーズと大学シーズとのマッチング状況 ・ 大学からの人材確保に関する参考資料 ・ ホンダインキュベーションプログラム IGNITION ・ PARKSの現状について (事務局：(一財)九州オープンイノベーションセンター、FVP、九経連)
サイバーセキュリティ推進への取り組み		
2024/10/4	サイバーセキュリティセミナー (福岡市＆オンライン)	題目：デジタル化時代の新たな脅威に挑む！「OTセキュリティ完全ガイド」 <講演> 講演①「制御系システムにおけるサイバーインシデント動向と政府の対策」 講師：IPA(独立行政法人情報処理推進機構) 産業サイバーセキュリティセンター調査分析部 サイバーインシデント調査室長中山 顕氏 講演② 「企業が抱える OT セキュリティの課題と対策事例」 講師：PwC コンサルティング合同会社 ディレクター 浦上昌己 氏
2025/03/18～19	第 5 回九州サイバーセキュリティシンポジウム （宮崎市）	オール九州でサイバーセキュリティ先進地域へ ～ フェーズ 1 九州の発展を支える グローバル・サプライチェーン強靭化に向けて ～ 講師：独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター企画部 サイバー情勢研究室 室長 大澤 淳 氏 他
ICT 人材育成への取り組み		
2024/8/1	先導的 ICT 人材育成事業 キックオフ会議 (福岡市＆オンライン)	<内容> ・ 実践インターンシップの概要説明 ・ 今年度参加学生の紹介 ・ 今年度参加学生によるスピーチ（抱負等） ・ 実践インターンシップの進め方の説明
2024/12/20	先導的 ICT 人材育成事業 前期成果報告会 (福岡市＆オンライン)	<内容> ・ 今年度参加学生による実践インターンシップの成果報告 ・ 修了証書授与 ・ 受入れ企業関係者による講評
2025/3/4	先導的 ICT 人材育成事業 後期成果報告会 (福岡市＆オンライン)	<内容> ・ 今年度参加学生による実践インターンシップの成果報告 ・ 修了証書授与 ・ 受入れ企業関係者による講評
2025/2/25	中小企業 DX 勉強会 (オンライン)	<内容> ①基調講演 経済産業省 情報技術利用促進課 「DX 支援ガイダンス～デジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ」 ②IT ベンダーの取組 (株)福岡情報ビジネスセンター 「DX 支援事例と成功の要諦」 ③自治体の取組 大分県 商工観光労働部 DX 推進課 「ONE OITA 経営指標見える化 伴走支援プログラム」

地域共創委員会

■委員会・部会等

開催日	会合名	内 容
2024/09/17	第 1 回委員会 （福岡市）	<議題> ・地域共創委員会の活動状況（報告） <講演> 演題：「高度外国人材の定着に向けて日本社会のグランドデザインを検討する」 講師：立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕 氏 <参加者> 124 名
2025/03/03	第 2 回委員会 （福岡市）	<議題> ・2024 年度 地域共創委員会 事業報告(案) ・2025 年度 地域共創委員会 事業計画(案) <講演> 演題：「九州における地域産業の将来像」 講師：東海大学 熊本キャンパス長 兼 経営学部長 木之内 均 氏 <参加者> 119 名
地域づくり部会		
2024/08/27	第 1 回地域づくり部会 (オンライン併用、福岡市)	<報告> ・「地域共創委員会」2024 事業の取組状況と課題 <意見交換> ・地域で活躍する人材の確保・定着 ～企業の価値創造に向けて～ ①「多様な人材」の獲得・活躍に向けた取組み ②「人材共有モデル」について <参加者> 24 名
2025/02/12	第 2 回地域づくり部会 (オンライン併用、福岡市)	<報告> ・「地域共創委員会」2024 年度事業報告 ・2025 年度事業計画（案） <意見交換> ①地域の木材の新たな使い方 ～企業の価値向上の観点から～ 卓話) ㈱モリアゲ 代表 長野 麻子氏 ㈱野村総合研究所 エキスパート 神林 優太氏 ②副業による新しい人材シェアリング ～企業の価値創造に向けて～ <参加者> 29 名
規制改革推進部会		
2024/09/03	第 1 回規制改革推進部会 (福岡市) ※オンライン併用	<報告> ・専門部会の活動報告 （国への要望活動/農業・林業・水産業） ・規制改革目安箱（経団連への要望結果） <意見交換> ・九経連 2024 計画 「耕作放棄地対策～九州に適したモデル作成」 ・日本の教育の現状及び九経連だから出来ること <参加者> 13 名
2025/02/5	第 2 回規制改革推進部会 (福岡市) ※オンライン併用	<報告> ・2024 年度「地域共創委員会」事業報告 ・2025 年度計画（案） ・耕作放棄地への企業参入事例調査/ 参入モデルの特徴整理 <意見交換> 【農業】企業の農業参入について 【教育】大学と経済界、および地域社会との連携効果 （①人材育成 ②社会連携） ・「大学連携・地域連携」の取組状況と課題 卓話）熊本大学副学長 宇佐川 毅 氏 <参加者> 19 名

農業・林業・水産業専門部会		
2024/12/06	農業専門部会 農業関係現場視察会	＜視察先＞熊本県山鹿市 ・やまが BASE 小学校跡地を再生した多機能施設見学、 ㈱あつまるホールディングスの農業の取り組み説明 ・㈱あつまるホールディングス NSP 山鹿工場 施設概要の説明、工場見学 ・㈱あつまる山鹿シルク 天空桑園 桑園の概要説明、標高 600m約 25haの桑園見学 ・菊鹿ワイナリー 熊本ワインファーム㈱ 菊鹿醸造所 施設概要の説明、施設見学 ＜参加者＞ 8名
2025/02/28	農業専門部会 （オンライン併用、福岡市）	＜議題＞ ・2024 年度活動実績 ・2025 年度活動計画(案) ・2025 年度農業・畜産関係要望事項(案) ＜意見照会＞ ・九経連の農業関係の取り組みについて ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞16 名
2025/01/15	林業専門部会 林業関係現場視察会	＜視察先＞ ①国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所（熊本県熊本市） ②合同会社熊本錦グリーンパワー 錦町２ＭＷ木質バイオマス発電所（熊本県球磨郡錦町） 事業概要の説明、木質バイオマス発電所等の見学 ＜参加者＞ 16 名
2025/03/10	林業専門部会 (オンライン併用、福岡市)	＜議題＞ ・調査・研究 WG の報告書 ・2024 年度活動実績 ・2025 年度活動計画(案) ・2025 年度林業関係要望事項(案) ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞13 名
2024/06/11	水産業専門部会 水産業関係現場視察会	＜視察先＞ ①水産研究・教育機構 水産技術研究所 （長崎県長崎市） ②長崎県総合水産試験場（長崎県長崎市） ＜参加者＞11 名
2025/02/26	水産業専門部会 (福岡市)	＜議題＞ ・2024 年度活動実績 ・2025 年度活動計画(案) ・2025 年度水産業関係要望事項(案) ＜意見交換＞ ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞12 名

■地域の「稼ぐ力」を高める（農林水産業）

開催日	会合名	内 容
地元食品産業等の販路拡大（九州の食輸出協議会）		
2024/09	九州フェア （台湾・大潤發）	＜内容＞ 台湾小売店での九州フェア開催/売上 396 万円 くまモン同行にて販売促進を実施(4 店舗)
2024/11	九州フェア （カンボジア・イオン）	＜内容＞ 九州フェア開催／売上高 141 万円
2025/02 ～03	九州フェア （米国・PPIH：ドンキホーテ）	＜内容＞ 九州フェア開催／売上高 3,094 万円
中山間地域スマート農業技術導入モデル（農研機構への委託研究）の紹介・展開		
2024/08/27	令和６年度九州スマート農業技術情報連絡会議（九州農政局主催）	左記の情報連絡会議に出席し、農業分野における九経連の取り組みを紹介、「九州中山間におけるスマート農業技術導入モデル」（鹿児島県編）について農研機構より発表 ＜参加者＞ 農林水産省本省、九州農政局各県拠点、九州７県スマート農業担当者 他
2024/11/06	令和６年度 スマート農業技術の経営評価手法に関する研究会（農研機構主催）	スマート農業の推進に向けて、弊会からの受託研究「九州における中山間スマート農業技術導入モデル」について、農研機構本部よりご紹介 ＜参加者＞ 都道府県および農研機構の農業関係技術者および研究者
農業の体験者拡大		
2024/4/18～4/19（1 泊 2 日）	企業研修（新入社員研修）への農業カリキュラム導入	福岡市内の企業 久留米市内の農業法人３社、JA 施設 ラディッシュ等の収穫、袋詰め、ハウス内片付け他 11 人
2024/06/01	企業研修（新入社員研修）への農業カリキュラム導入	福岡市内の企業 うきは市内の農業法人、JA 施設 小麦の収穫他 ３名
2024/7/22～7/25	援農アプリ活用による農業ボランティア	福岡市内の企業 福岡県大木町の農業法人 トマト株の撤去作業他 ５名
2024/12/06～12/07	異業種・交流アグリボランティア	＜主旨＞ 「農業現場を体験し、農や食を身近に感じる」「地元農産物の生産ルーツを学ぶ」「自然の中で異業種交流」 ＜概要＞ 久留米市内の農業法人３社、福岡県大木町の農業法人 ビーツ等の収穫、袋詰め、草取り他 福岡市内の企業７社、12 名
企業の農業参入促進		
2024/10/08	九経連・経団連共催 農業活性化に向けた企業タイアップセミナー (東京・経団連会館)	＜概要＞ ・農業従事者の減少や耕作放棄地の拡大といった農業が直面する課題について、企業の農業参入をはじめとする経済界と農業界のタイアップを促進することにより諸課題に解決を図り、農業の活性化に繋げる。またセミナー後は九州各県産品の展示も含めた、九州各県・登壇者と企業参加者との交流会を開催 ＜基調講演＞ 演題：「日本の農業の現状とこれからの展望」 講師：㈲木之内農園 会長 東海大学 熊本キャンパス長 兼 経営学部長 木之内 均 氏 ＜各県プレゼンテーション＞ 企業の農業参入状況、支援体制等について （佐賀県/大分県/熊本県/宮崎県） ＜事例講演＞ 演題：「ゼロから農業をやることの難しさ」 講師：アスパラ農家 綿住 輝 氏 ＜交流会＞ 参加希望者と登壇者の交流会（各県産品も展示） ＜参加者＞ 75 名
九州産木材の利用促進		
2024/06/07	第１回モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	＜講演＞ 演題：「Society 5.0 時代の森林セクターのイノベーション」 講師：立命館アジア太平洋大学 助教 眞田 貴絵 氏 ＜意見交換等＞ ①林業専門部会について ②2023 年度モクビル研究会の活動実績 ③2024 年度モクビル研究会の活動計画 ④木材サプライチェーン製材所調査 ⑤その他※事例紹介等情報共有

2024/07/25	モクビル研究会 竣工後見学会	<見学先> ㈱竹中工務店 警固竹中寮 計画地：福岡市中央区警固２丁目 12-25 用途：単身者用社宅（20 室）地上５階建 敷地面積：452.88 ㎡ 構造種別:木造 CLT 壁式+RC 構造 <参加者>15 名
2024/10/25	第２回モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	<講演> 演題：「協同の視点から立て直す地場産業」 講師：合同会社 SCOP 代表社員 松澤 瞬 氏 演題：「木質製品および木造建築モデルの開発」 講師：合同会社良品店 代表社員 渡邉 洋一 氏 合同会社 PARTS 代表社員 芳賀沼 克彦 氏 <報告及び意見交換等> ①第１回モクビル研究会の開催結果について ②九経連会員へのモクビル建設 呼びかけについて ③製材所調査の再調査について ④今後の活動について ⑤事例紹介・情報共有等
2025/02/17	第３回モクビル研究会 (オンライン併用、福岡市)	<講演> 演題：「中小・中大規模木造建築の現在と展望」 講師：㈱日建設計 設計部門 ダイレクター 大庭 拓也 氏 <取組説明・報告事項> ①モクビル研究会の取組 ②製材所調査の再調査の進捗について ③チラシ及びモクミビルリーフレットの配布 <意見交換会>

■人の流れをつくる（観光振興）

開催日	会合名	内 容
ツール・ド・九州 2024		
2024/10/11 ～10/14	ツール・ド・九州	<開催概要> 開催地：福岡県、熊本県、大分県（12 市町村） レース形式：転戦型ステージレース、クリテリウム 全走行距離 432km、獲得標高 9,146m 参加 17 チーム、選手 99 人（23 か国） カテゴリー：UCI アジアツアー2.1（クラス１） 観客数：101,000 人 YouTube 再生回数：204,000 回 経済波及効果：26 億 4,960 万円
2025/03/26	ツール・ド・九州 2025 記者発表（福岡市）	・ツール・ド・九州 2025 PR 動画放映 ・2025 大会 ロゴマーク発表 ・スポンサー発表（第一弾）
第三期九州観光戦略		
2024/09/04	第７回準備 WG（福岡市）	<議題> ・第二期九州観光戦略 最終実績について ・第三期九州観光戦略 第１次アクションプランの進捗管理について ・第三期九州観光戦略 第１次アクションプランの取組状況（予定含む）について ・意見交換

■共生社会（多様性）

開催日	会合名	内 容
ジェンダー平等推進（女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」）		
2024/12/11	オリエンテーション（オンライン併用、福岡市）	<概要> 九州圏内で活躍する女性リーダーの育成とネットワーキングの促進を目的に開催。2024 年度より、事務局を九経連に移管。活動期間：2024.12～2026.3 <オリエンテーション> ・WE-Net 概要説明・活動イメージの共有 ・グループワーク①（自己紹介） ・グループワーク②（課題「健康経営」の共有） <参加者>40 名
2025/03/12	第１回定例会（福岡市）	<基調講演> 演題：「正興電機グループのシステムを活用した健康経営」 講師：㈱正興電機製作所 常務執行役員 情報部門長 有江 勝利 氏 <意見交換等> ・事例共有、グループワーク <参加者>40 名

■地域課題解決
（人材確保・活躍推進）

開催日	会合名	内 容
人材共有モデル		
2024/08/27	第１回地域づくり部会 (オンライン併用、福岡市) ＊再掲	<報告> ・「地域共創委員会」2024 事業の取組状況と課題 <意見交換> ・地域で活躍する人材の確保・定着 ～企業の価値創造に向けて～ ①「多様な人材」の獲得・活躍に向けた取組み ②「人材共有モデル」について <参加者>24 名
2024/12/10	九州における人材政策に関する意見交換会	<報告> ・九州企業の人材課題 ・国の人材確保支援事業の近況 ・企業主導での兼業派遣による地域中小企業支援 <意見交換> ・企業間人材マッチング事業（大企業から中小企業への副業マッチング・越境研修）について <参加者>17 名
若者の流出を防ぐ		
2025/01/22	locus 成果報告（福岡市）	<概要> ・ツール・ド九州をきっかけに、福岡県・大分県・熊本県の高校生たちが、自転車チームの様に地元企業と連携し、それぞれの地域が抱える課題について共に解決策を模索する。 （参加高校生 391 名、協力企業数 24 社、３団体） ・探究学習の成果を、福岡県・服部知事、大分県・佐藤知事、熊本県・木村知事へ、高校生から報告。
2024/02/13	locus 成果報告（大分市）	
2024/03/13	locus 成果報告（熊本市）	

■安心して暮らしつづけられる

開催日	会合名	内 容
災害対応の広域化・迅速化・高度化		
2024/07/11	第１回勉強会(宮崎市)	九州地域戦略会議「安心・安全 PT」の防災・減災 DX プロジェクトとして、九州各県と九経連、研究機関等で計４回の合同勉強会を実施。 <議題> ・デジタル技術を活用した防災・減災対策（国・研究機関・民間の動き） ・各県の災害情報管理システムの状況 ・大分・宮崎・長崎・佐賀・山口・福岡概念実証（PoC）結果 ・南海トラフ等広域大規模災害時初動対応方針
2024/10/03	第２回勉強会(鹿児島市)	
2024/12/23	第３回勉強会(佐賀市)	
2025/03/19	第４回勉強会(福岡市)	

交通委員会

開催日	会合名	内 容
2025/03/05	委員会 (福岡市)	<議題> ・ 2024年度活動報告 ・ 2025年度事業計画（案） ・ 九州MaaS協議会活動報告 他 <勉強会> 演題：「物流危機問題の再認識と荷主における効率化への対策について」 講師：(公社)日本ロジスティクスシステム協会アドバイザーFujita Office 代表 藤田 正美 氏

2024/07/04	第１回企画部会 (福岡市)	＜議題＞ ・　交通基盤整備に関する要望(案) ・　2024年度第1四半期活動報告 ＜講演＞ 演題：「ライドシェアの現状と九州の地域交通の未来」 講師：第一交通産業㈱　社長　田中 亮一郎 氏
2025/02/07	第２回企画部会 (福岡市)	＜議題＞ ・　2024年度活動報告 ・　2025年度事業計画（案） ＜講演＞ 演題：「地域交通の最新動向と MaaS2.0」 講師：国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課長 土田 宏道 氏
2024/08/16	九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望	＜要望先＞ 内閣府、財務省、経産省、国交省、国会議員等

関門連携委員会

開催日	会合名	内 容
2024/10/08	第１回委員会 （書面開催）	＜議題＞ 関門地域の活性化推進に関する要望(案)
2025/03/13	第２回委員会 （下関市）	＜議題＞　・2024 年度実施状況報告 ・2025 年度事業計画(案) ＜講演＞　演題：「人の行動論的アプローチから関門連携について考える～2024 年秋に実施したワークショップの成果報告を中心に～」 講師：山口県立大学　国際文化学部 教授/博士　斉藤　理 氏
2024/11/12 2024/11/25	関門地域を"もっと面白くする"ワークショップ (北九州市・ 下関市)	動詞抽出法によるワークショップ・まち歩きフィールドワーク 講師：山口県立大学　国際文化学部 教授/博士　斉藤　理 氏
2024/07/22	下関北九州道路整備促進大会 （下関市）	＜主催団体＞ ・　下関北九州道路建設促進協議会 ・　中国経連、九経連、関門連携委員会 ・　下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・　下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜大会決議＞ 1.国と２県２市が緊密に連携・協力し、環境影響評価や都市計画決定の手続きを着実に進めること 2.早期事業化に向けて、有料道路事業の導入や民間資金を活用したＰＦＩなど、効果的な整備手法の検討を促進すること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2024/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望 （郵送）	＜要望団体＞ ・　下関北九州道路建設促進協議会 ・　関門連携委員会 ＜要望先＞国交省、財務省、自民党、公明党等
2024/08/23	下関北九州道路中央要望 （東京都）	＜要望団体＞ ・　下関北九州道路建設促進協議会 ・　中国経連、九経連、関門連携委員会 ・　下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・　下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜要望先＞国交省、財務省、自民党、公明党
2024/11/27	関門地域の活性化推進に関する要望 （東京都）	＜要望団体＞　関門連携委員会 ＜要望先＞　国土交通省、内閣府、財務省等

地域委員会

開催日	会合名	内 容
北九州		
2024/10/23	北九州・山口合同地域委員会 (北九州市)	＜講演＞ 「北九州 GX 推進コンソーシアムの現状と課題」 北九州市　産業経済局長　　柴田 泰平　氏 ＜意見交換会＞ ・北九州地区での農業の現状と今後の取組 ・TSMC 熊本工場設立に伴う近県への影響と対応 ・下北道路建設スキームについて ・会長との意見交換
筑後		
2024/09/13	筑後地域委員会 （久留米市）	＜昨年度の意見交換内容の振返りと九経連事業への反映＞ ＜意見交換＞ ・本部との連携プロジェクト ・今後の筑後地区の高齢化に伴う救急医療 ・地球温暖化・カーボンニュートラルの取組み ・筑後地域の経済・観光をはじめとする地域活性化 ・地域委員会の存在意義 ・会長との意見交換
佐賀		
2024/7/24	第１回佐賀地域委員会（佐賀市）	＜視察会＞ SAGA COLLECTIVE 協同組合参画企業 三福海苔㈱（佐賀市）、 レグナテック㈱（佐賀市）
2024/10/24	第２回佐賀地域委員会（佐賀市）	＜講演＞ 「人材育成におけるダイバーシティ理解について」 西九州大学　ダイバーシティセンター 副センター長　川邊 浩史　氏 ＜意見交換＞ ・佐賀ゼロ・ネットコンソーシアムについて ・核燃料サイクル等について ・会長との意見交換
長崎		
2024/10/29	長崎地域委員会 （長崎市）	＜講演＞ 選ばれる「新しい長崎県づくり」～未来大国を目指して～ 長崎県知事　大石　賢吾　氏 ＜意見交換＞ ・長崎県の課題について ・会長との意見交換
熊本		
2024/09/13	熊本地域委員会 （熊本市）	＜本部報告＞ 九経連事業報告、新生シリコンアイランド九州グランドデザイン ＜講演＞ 「半導体超進化論」 熊本県立大学　理事長　黒田 忠広　氏
2025/3/18	熊本・鹿児島合同地域委員会 (鹿児島市)	＜講演＞ 「事業活動を通じた地域課題解決～課題解決の担い手となる社会起業家・企業～ (公財)九州経済調査協会　事業開発部 次長　藤井 学　氏 ＜事例紹介＞ サーキュラーパーク九州㈱　代表取締役　春木 優 氏 城山観光㈱ 人材開発部長　SDGs 推進部長　安川 あかね 氏
大分		
2025/01/30	大分地域委員会 (大分市)	＜本部事業との協働・連携した活動＞ ・「事業継続を含めた防災対策について ＜大分地域委員会総会＞ ＜意見交換＞ ・大分県の課題について ・会長との意見交換

宮崎		
2024/11/21	宮崎地域 委員会 (宮崎市)	＜地域委員会活動報告及び事業計画説明＞ ＜講演＞ 「宮崎県における自然災害について」 宮崎大学名誉教授　原田　隆典　氏 ＜意見交換＞ ・宮崎県の課題について ・会長との意見交換
鹿児島		
2024/10/01	鹿児島地域委員会 (鹿児島市)	＜講演＞ 「人材不足に立ち向かう九州・鹿児島」 (公財)九州経済調査協会　調査研究部　次長　松嶋　氏 ＜事例紹介＞ Locus　㈱マイナビ 熊本・鹿児島支社長　喜多　寛　氏 ＜意見交換＞ ・鹿児島県の課題について ・会長との意見交換
2025/03/18	鹿児島・熊本合同 地域 委員会 (鹿児島市)	＜講演＞ 「事業活動を通じた地域課題解決～課題解決の担い手となる社会起業家・企業～ (公財)九州経済調査協会 事業開発部　次長　藤井　学　氏 ＜事例紹介＞ サーキュラーパーク九州㈱　代表取締役　春木　氏 城山観光㈱　人材開発部長　SDGs　推進部長　安川　氏
山口		
2024/10/23	山口・北九州合同 地域委員会 (北九州市)	＜講演＞ 「北九州 GX 推進コンソーシアムの現状と課題」 北九州市　産業経済局長　　柴田　泰平　氏 ＜意見交換会＞ ・北九州地区での農業の現状と今後の取組 ・TSMC 熊本工場設立に伴う近県への影響と対応 ・下北道路建設スキームについて ・会長との意見交換

Ⅳ　国内外の団体等との活動・経済交流等

九州地域戦略会議

開催日	会合名	内　容
2024/06/3 ～4	第４５回九州地域戦略会議 （熊本市）	＜審議＞ ・「こどもまんなか九州」の実現に向けた取組について ・「こどもまんなか九州宣言」（案）について ・ 次期九州創生アクションプラン骨子案について ・ 新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取組について ＜報告＞ ・ 構造的な賃上げの推進について ・ ツール・ド・九州について ・ 九州ＭａａＳについて ・「九州広域データ連携プラットフォーム（QDP）検討会」の取組状況について ・ 第２１回夏季セミナーについて ・ 第三期九州観光戦略について（訪日外国人リピーター率）
2024/10/22	第４６回九州地域戦略会議 (長崎市)	＜講演＞ ・ 南海トラフ地震等広域大規模災害に向けて 防災 DX としてやるべきこと ＜審議＞ ・ 第３期九州創生アクションプランの策定について(中間報告) ・「地方創生　九州宣言２０２４」（案）について ・ 予算・決算、役員選任について ＜報告＞ ・ 九州地域戦略会議　台湾訪問団の派遣について ・ 再生可能エネルギー産業化推進委員会の活動報告と 2025 年度事業計画 ・ 九州・沖縄文化力推進会議令和７年度事業計画
2024/04/12	幹事会 (大分市)	＜議題＞ ・ 第４５回九州地域戦略会議の開催要領(案)及び審議要領(案)について ・ 共同議長の選任について ・ 第４５回九州地域戦略会議　議題について
2024/08/30	幹事会 (宮崎市)	＜議題＞ ・ 第４６回九州地域戦略会議の進行要領(案)について ・ 講演「南海トラフ地震等広域大規模災害に向けて防災ＤＸとしてやるべきこと」について ・ 第４６回九州地域戦略会議　議題について
2025/01/28	幹事会 (オンライン)	＜議題＞ ・ 第３期九州創生アクションプランの素案について ・ 研究組織について ・ 第２２回夏季セミナーについて【 ・ 第４７回九州地域戦略会議日程(案)・議題について ・ 台湾訪問団の報告
2025/02/09 ～11	台湾訪問団 (台北市、新竹市)	＜目的＞ 新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取組の一環として、半導体先進地である台湾から学びを得るとともに、グランドデザインをはじめとする九州の考えを台湾の関係各機関に伝え、理解してもらうこと。 ＜団長＞ (一社)九州経済連合会 会長　倉富　純男 ＜副団長＞ 宮崎県　知事　河野　俊嗣　氏 ＜主な訪問先＞ ・新竹科學園區管理局　　陳宗權局長　他 ・工業技術研究院（ITRI）　劉文雄院長　他 ・台湾経済部　　郭智輝部長　他
2024/08/06 ～07	第 21 回夏季セミナー （山口市）	＜テーマ＞ サステナブル KYUSHU の実現に向けて ＜基調講演＞ 演題：地域の持続可能な発展に向けた協働と金融の役割 講師：政策研究大学院大学　教授 竹ケ原 啓介 氏 ＜第１分科会＞ テーマ：支援機関による企業 DX の加速化 座長：(一財)沖縄 IT イノベーション戦略センター 理事長　稲垣 純一 氏 ＜第２分科会＞ テーマ：カーボンニュートラルの推進 座長：九州大学 副学長・主幹教授 （水素エネルギー国際研究センター長） 佐々木　一成　氏 ＜第３分科会＞ テーマ：大学との連携による地方創生 座長：佐賀大学 理事（研究・社会連携担当）・副学長　豊田　一彦　氏 ＜第４分科会＞ テーマ：労働力減少・人手不足時代における産学官の対応策と九州の発展戦略 座長：九州経済同友会 代表委員 （九州旅客鉄道㈱ 代表取締役会長） 青柳 俊彦 氏
再生可能エネルギーへの取組		
2024/10/03	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第１回委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・ 今後の活動計画、委員会予定案について ・ 実務者会議（地熱、海洋、水素）からの報告 ＜講演＞ 九州大学　佐々木副学長
2024/03/14	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第２回委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・ アクションプラン改定、今後の活動計画、委員会予定案について ・ 実務者会議（地熱、海洋、水素）からの報告 ＜講演＞ 丸紅株式会社
2024/08/30	第１回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	＜議題＞ ・ APに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ 再エネ委員会からの報告 ・ R6年度事業計画等 ＜講演＞ ・ 九州大　西島准教授
2025/01/17	第２回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (熊本市)	＜議題＞ ・ APに関する各県からの状況報告 ・ 地熱・温泉熱PJ組成件数 ・ アクションプラン改定について ・ 再エネ委員会からの報告 ・ R7年度事業計画等 ＜講演＞ ・ ふるさと熱電
2024/08/26	第１回海洋エネルギー産業化実務者会議 (長崎市)	＜議題＞ ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ アクションプラン改定について ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 ・ KPI指標
2025/02/07	第２回海洋エネルギー産業化実務者会議 (長崎市)	＜議題＞ ・ 各委員の取り組み状況・翌年度計画報告 ・ 合同活動・展示会出展・セミナー開催報告 ・ アクションプラン改定について ・ 再エネ委員会からの報告 ・ 今後の実務者会議活動 ・ KPI指標 ＜視察＞ ・ 長崎海洋アカデミー
2024/09/17	第１回水素エネルギー産業化実務者会議 (WEB)	＜議題＞ ・ APに対する取り組み報告 ・ 水素ステーション適地マップ更新方針や ・ 整備目標見直し等 再エネ委員会からの報告

経済団体等との懇談

開催日	会合名	内 容
九州経済を考える懇談会		
2024/07/10	第１回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・第 45 回九州地域戦略会議の総括と今後の対応について
2025/02/12	第２回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・九州地域戦略会議 ＱＸプロジェクトについて ・九州経済の課題について ・社会全体における「価格転嫁の商習慣」の定着に向けて
北海道経済連合会との意見交換会		
2024/08/26	北海道経済連合会との意見交換会 (福岡市)	＜同経連の活動紹介＞ ・道産さつまいもを巡る各業界の動向と「さつまいも北海道プロジェクト」の立上げについて ・半導体産業集積に向けた支援活動 ・北海道における洋上風力発電関連の動き ＜九経連の活動紹介＞ ・九州農産物直販㈱の取組について ・「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた取組～グランドデザインを中心に～ ・九州における洋上風力関連の動き ＜意見交換＞
九州経済団体 総務担当者会議		
2024/04/05 2024/05/10 2024/06/05 2024/07/05 2024/08/09 2024/09/04 2024/10/01 2024/11/05 2024/12/04 2025/01/09 2025/02/06 2025/03/05	４月例会 ５月例会 ６月例会 ７月例会 ８月例会 ９月例会 10 月例会 11 月例会 12 月例会 １月例会 ２月例会 ３月例会 (福岡市)	＜議題＞ 各団体の活動状況報告とスケジュール共有

海外との経済交流

開催日	会合名	内 容
環黄海（中国・韓国）経済交流事業		
2024/11/13 ～11/14	第 22 回環黄海経済・技術交流会議 (大分県別府市)	＜テーマ＞ 「持続可能な環黄海経済圏の形成～カーボンニュートラル・高度外国人材に係るベストプラクティスの共有と環黄海地域への展開～」 ＜環黄海ビジネスフォーラム＞ 第１部：カーボンニュートラル (九州側登壇者) ・「未利用再エネの有効利用について-系統連携に代わる水素によるエネルギー輸送」 ㈱大林組 常務執行役員 グリーンエネルギー本部長 安藤 賢一 氏 ・「クライメイト(カーボン)ニュートラルな未来実現のために」 ㈱西部技研 取締役常務執行役員 下園 誠 氏 ・「九州から世界へ、次世代の接続可能な電力の未来」 Tensor Energy㈱ 共同代表 堀 ナナ 氏 第２部：高度外国人材 (九州側登壇者) ・「大学から見た高度外国人材定着の現状と課題」 立命館アジア太平洋大学 副学長 淺野 昭人 氏 ・「外国人材育成・定着に向けた取組紹介」 西日本鉄道㈱ 新領域事業開発部 丁 碩泳 氏 ・「外国人材の採用と海外展開に関する取組」 LE.ONE㈱ 代表取締役 山﨑 春樹 氏 大学生・留学生によるプレゼンテーション ・「多様な普通が存在する学び場」 立命館アジア太平洋大学 木須 さくら 氏 ・「別府大学でがんばっていること」 別府大学 姜 大豪 氏 ・「大分・別府から未来へ」 別府溝部学園短期大学 郭 馨竹 氏
		＜環黄海経済・技術交流会議 本会議＞ (九州側登壇者) ・「グリーン・コンビナートおおいたの実現に向けて」 大分県商工観光労働部 審議監 岩尾 誠二 氏 ・「高度外国人材の定着に向けて」 立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕 氏 ・「地域間協力の促進～日中経済協会訪中代表団や日中省エネルギー・環境総合フォーラムの取組を通じて」 (一財)日中経済協会 専務理事 堂ノ上 武夫 氏 (地域間協力に関する事業紹介) ・「日中韓協力の実態と TCS の役割」 日中韓三国協力事務局(TCS) 事務次長 図師 執二 氏 ・「最新の日中産業協力動向」 (一社)日中投資促進機構 代表理事 岡 豊樹 氏 ・「別府の主産業としての観光について」 別府市 副市長 阿部 万寿夫 氏 (MOU 署名式) ・日中韓三国協力事務局(TCS)および立命館アジア太平洋大学 相互理解覚書 ・大連市経済協力サービスセンターと日中投資促進機構の協力覚書
台湾との経済交流事業		
2025/02/09 ～02/11	九州地域戦略会議 台湾訪問団派遣 (台北市、新竹市)	＜内容＞ 「新生シリコンアイランド九州」の実現のため、九州地域戦略会議として台湾に訪問団を派遣し、半導体先進地である台湾から様々な学びを得るとともに、台湾の関係者と意見交換を実施。 ※詳細は「九州地域戦略会議」の項目を参照
韓国との経済交流事業		
2024/11/12	九州・韓国経済協力会議 2024 (大分県別府市)	＜内容＞ 九州と韓国双方の資金、技術、人材等の地域資源を相互補完し、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流の促進を目的に開催。「次世代へ向けた地域間交流の促進」をテーマに、経済連携の拡大、多様な交流の実現の２つの分野について意見交換を実施 ＜出席者＞ 【九州側】 21 名 (一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 【韓国側】 24 名 (社)韓日経済協会 常勤副会長 徐 錫崇 氏 ＜九州からの発表者＞ ・(公財)九州経済調査協会 調査研究部 次長 松嶋 慶祐 氏 ・Global Generation 推進機構 理事長 山下 未笑 氏 ・(一社)九州日韓経済交流会 専務理事 鈴木重幸 氏 ・別府市 観光・産業部 文化国際課長 高木 智香 氏
ベトナムとの経済交流事業		
2024/06/04 ～06/05	ベトナム計画投資省表敬訪問ならびに九州プロモーションセンター(K.P.C.)PR 事業 (ハノイ)	＜内容＞ 福岡市主催「ベトナム経済ミッション団」の一員としてベトナム計画投資省(九州経済国際化推進機構の MOU 締結先)を表敬訪問。外国投資庁のドー・ニャット・ホアン長官と面談し、翌年３月に派遣予定の「九州・ベトナム経済交流ミッション 2025」への協力を要請。さらに現地ベトナム企業関係者を対象に開催された「福岡市企業誘致セミナー」で九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ(K.P.C.)の利用促進を目的としたﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ、ブース出展を実施
2024/09/16 ～09/21	九州・ベトナム経済交流ミッション 2025 事前協議 (ハノイ、ホーチミン)	＜内容＞ 2025 年３月に派遣予定の「九州・ベトナム経済交流ミッション」に関する現地関係者との事前協議を実施。訪問先や現地での実施プログラム、行程など詳細に確認 ＜主な訪問先＞ ベトナム計画投資省、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館、タイビン省人民委員会、ハイフォン市人民委員会、九州プロモーションセンター、ジャパン・ベトナム・フェスティバル事務局、ジェトロ、他

2025/02/14	ベトナム進出に向けた最新動向・食品販路拡大ウェビナー (オンライン)	＜内容＞ ミッション派遣前のフォローアップイベントとして、ベトナム政治・経済の最新概況や九州プロモーションセンターの利活用状況の説明、九州企業のさらなるベトナム進出および食品販路拡大の促進を目的としたウェビナーを開催。 ＜主催者挨拶＞ (一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 ＜講演＞ ・「ベトナムの経済概況と日系企業動向」 (独)日本貿易振興機構（ジェトロ） アジア太平洋州課 課長代理 庄 浩充 氏 ・「近畿経済産業局によるベトナム・ドンナイ省との経済交流」 近畿経済産業局 国際部 国際事業課 総括係長 中川 真衣 氏 ・「K.P.C.の概況や利活用促進に向けて」 九州プロモーションセンター（K.P.C.） センター長 ブイ・マン・ハー 氏 ＜閉会挨拶＞ 九州ベトナム友好協会 会長 星野 裕志 氏
2025/03/04～ ～03/09	九州・ベトナム経済交流ミッション2025 (ハノイ、ホーチミン)	＜内容＞ 現地での九州の知名度向上、ビジネスの拡大、地方都市とのネットワーク構築を主な目的としたミッションを派遣。 ＜主催＞ 九州経済国際化推進機構、九州ベトナム友好協会 ＜団長＞ (一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 ＜副団長＞ 九州ベトナム友好協会 会長 星野 裕志 氏 ＜顧問＞ 九州経済産業局 局長 星野 光明 氏 ＜主なプログラム＞ ・ベトナム関係省庁・政府機関への表敬訪問 （副首相兼外務大臣、農業環境省国際協力局長、国家イノベーションセンター副所長との意見交換） ・日系政府機関への表敬訪問 （在ベトナム日本国大使、在ホーチミン日本国総領事） ・ベトナム地方都市とのネットワーク構築 （ホーチミン市人民委員会副委員長、ドンナイ省人民委員会副委員長への表敬訪問・意見交換） ・ベトナムでの九州の知名度向上に向けた取り組み （ジャパン・ベトナム・フェスティバルでの九州ブース出展） ・ベトナムでのビジネス拡大に向けたプログラム （ビジネス相談会・市場視察、インフラビジネス視察、工業団地視察）
タイとの経済交流事業		
2024/09/03	ASEAN ウェビナー～ASEANの実像に迫る タイ・ヘルスケア、ASEAN・スタートアップを中心に～ (オンライン)	＜内容＞ 少子高齢化が急速に進む ASEAN 各国におけるヘルスケア関連産業や新産業をはじめとした現地の最新動向や進出事例、中小・スタートアップ企業が外国企業と協業等を行うにあたっての知財保護・活用上の留意点や活用できる施策等を紹介。 ＜第１部＞タイにおけるヘルスケア編 ・「タイの現状と課題～今後期待される産業と地方都市の成長可能性を中心に～」 在タイ日本国大使館 一等書記官 （経済産業担当） 沼尻 祐未 氏 ・「タイ進出事例と留意点」 Toyo Business Service Public Company Limited ディレクター 益雪 大助 氏 ・「タイの知財状況」 S&I International Bangkok Office 所長 井口 雅文 氏 ＜第２部＞中小・スタートアップ企業の ASEANビジネス編 ・「東南アジアにおける新産業やスタートアップ等をめぐる最新動向」 (独)日本貿易振興機構（ジェトロ）シンガポール シニアディレクター 横井 勇一 氏 ・「スタートアップが海外展開する上で必要な知財戦略」 ㈱シクロ・ハイジア 代表取締役 CEO 小林 誠 氏 ・「インドネシアにおける海外展開について」 ㈱アイル 代表取締役社長 早田 圭介 氏

その他アセアン各国との経済交流事業		
2025/02/27	日本アセアンセンター福岡スタディツアー受け入れ事業 (福岡市)	＜内容＞ 日本アセアンセンター主催の「福岡スタディツアー」でアセアン各国の駐日投資促進機関の職員が九経連を訪問。九経連の取り組み全般について紹介するとともに、プレゼン後には福岡の関係機関も参加して交流会を開催し、人的ネットワークの構築を図った。 ＜参加者＞ シンガポール、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーの各国の駐日投資促進機関の職員および日本アセアンセンター、経済産業省、福岡市（国際金融機能誘致担当）スタッフなど。
主な来訪、訪問、面談など		
2024/04/11	中国	中国駐福岡総領事館・楊慶東総領事来訪(着任挨拶)
2024/04/18	ベルギー	ベルギー王国・エヴラー駐日大使来訪（表敬訪問）
2024/05/29	台湾	工業技術研究院（ITRI）劉院長・九州訪問団来訪
2024/06/12	フランス	在日フランス商工会議所・ボナルデル事務局長との面談
2024/06/14	EU	駐日欧州連合代表部・パケ大使他来訪
2024/06/21	中国	駐日中国大使館 羅暁梅・経済商務公使来訪
2024/06/26	インドネシア	駐日インドネシア大使館・インドリアサリ商務部長訪問
2024/06/27	フィリピン	フィリピン大使館 貿易投資部(DTI)・マサイ商務参事官訪問
2024/07/11	アメリカ、韓国	在福岡アメリカ首席領事、駐福岡韓国総領事との面談
2024/07/23	シンガポール	シンガポール経済開発庁(EDB)・リム日本韓国代表来訪
2024/08/26	国連ハビタット	国連ハビタットナイロビ本部 エルファン・アリ官房長来訪
2024/10/23	台湾	高雄市工業会・陳哲生理事長、李威穎総幹事来訪
2024/10/24	台湾	台湾跨境創新創業交流協会(CIEA)一行来訪
2024/10/30	マレーシア	マレーシア投資開発庁(MIDA)大阪事務所・ムザイリ所長来訪
2024/12/09	オーストラリア	在大阪オーストラリア総領事館・ボーエン総領事来訪（着任挨拶）
2025/02/05	インド	在大阪・神戸インド総領事館・アッパル総領事との面談

V 関連協議会等活動

西日本経済協議会

開催日	会合名	内 容
2024/04/08	第１回専務理事会議 (大阪市)	<議題> ・ 2024年度の活動の進め方等 ・ 2024年度分科会の取組み ・ 各経連2024年度の事業計画と重点取組事項
2024/04/24	第１回担当者会議 (名古屋市)	<議題> ・ 2024年度の活動の進め方等 ・ 分科会の取組みについて ・ 当面の予定と依頼事項
2024/06/28	第２回担当者会議 (名古屋市)	<議題> ・ 西日本経済協議会　総会及び要望活動の進め方等について ・ 決議文（要望書）案について
2024/08/29	幹事会・第２回専務理事会議(Web)	<幹事会議題> ・ 第66回総会　開催概要 ・ 総会決議文（案） ・ 要望活動 ・ 分科会の進捗状況 <専務理事会議議題> ・ 能登半島地震の状況について
2024/10/08	総会 (岐阜県下呂市)	<議題> ・ 前年度活動報告 ・ 各地経済連合会からの発言 ・ 分科会活動報告 ・ 決議採択 <講演> 演題：「大阪・関西万博｜日本を共創でデザインする」 講師：パノラマティクス主宰 2025 年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター　齋藤　精一　氏
2024/11/28	要望活動 (東京都)	<要望先> 首相官邸、内閣府、財務省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、自由民主党本部

九州航空宇宙開発推進協議会

開催日	会合名	内容
2024/5/31	第１回幹事会 (福岡市,リモート併用)	<議題>(総会議案の事前審議) 第３次アクションプランに基づく ・ 2024年度事業報告、決算報告 ・ 2025年度事業計画案、収支予算案、役員選任案
2024/6/28	総会 (福岡市,リモート併用)	<議題> ・ 2024年度事業報告、決算報告 ・ 2025年度事業計画案、収支予算案、役員選任案（審議）、幹事選任案（報告） <特別講演会> 「九州発宇宙ビジネスの旅」 衛星データを活用して玖珠米のブランド化のための Tellus を利用したソリューション開発 講師：㈱オーイーシー DX 推進部　若林　諒
2025/03/24	第２回幹事会 (福岡市,リモート併用)	<活動状況報告、総括> ・ 九航協航空産業連絡会議(新 QAN) ・ 航空グリーン・イノベーション関連事業創生可能性調査 ・ 航空人材の育成と航空への啓蒙活動 ・ 九州宇宙開発ビジネス交流会 ・ 九州域内航空宇宙データベースに関する検討会 ・ 衛星データ利用に関する生産性・コスト実証を含む事例集の作成とビジネスモデルの検討 ・ 既存射場の活用研究会 ・ 第 21 回種子島ロケットコンテスト <審議事項> ・ 第３次アクションプラン見直し委員会　結果報告 ・ 九航協入退会企業
九航協航空産業連絡会議（新 QAN）		
2024/4/26	第 1 回定例会議	<議題> ・新 QAN 体制＆連絡会議活動方針 ・九経連 2024 年度取組施策等説明 ・九経局、各自治体ご担当者より航空産業・製造業全般の支援策説明
2024/8/22	第 2 回定例会議(福岡市、リモート併用)	<議題> ・「国際航空宇宙展 2024」の準備状況の説明と出展方針説明 ・ 先進クラスターとの交流推進、航空専門家業務委託 <講演> 「交通・運輸手段ヘリコプターの現状と将来について」 Toby 総研㈱ 代表取締役社長　飛永 佳成
2024/10/16 ～19	国際航空宇宙展 2024	・ 会員の新 QAN 6 社、宇宙衛星 3 社、自治体 6 出展 ・ 商談を会場内で実施、ブース来場者数　約 100 名 ・ 会場内で他地域のクラスターと意見交換を実施
2024/11/14	第 3 回定例会議(福岡市、リモート併用)	<議題> ・国際航空宇宙展 2024 の出展報告 ・航空グリーンイノベーション技術事業創生可能性調査
2024/2/20	第 4 回定例会議（福岡市,ﾘﾓｰﾄ併用）	<議題> ・ 2024 年度事業報告 ・ 2025 年度事業計画（案） <講演> 「航空機産業と川崎重工の取り組み(DX 関連)」 航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙生産本部 副本部長 田村 純一氏
2025/2/3	第 4 回九州宇宙開発ビジネス交流会（鹿児島県）	・鹿児島県宇宙ビジネス創出推進研究会と共催 場所：ライカ南国ホール 参加者数：(現地)92 名（オンライン）538 名
種子島ロケットコンテスト		
2025/3/7～9	第21回種子島ロケットコンテスト大会	<技術発表会>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <プレゼンコンテスト>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <ワークショップ>　・ロケット部門 / CanSat 部門
オール九州による宇宙開発促進に向けた既存射場の活用研究会		
2024/5～8 月	内之浦射場活用研究会	「九州域内における宇宙開発促進に関する要望書」内容見直し委員会実施
第３次アクションプラン見直し委員会		
2024/9～3 月	第３次アクションプラン見直し委員会	アクションプランの見直し修整、衛星開発コンソーシアム結成方針、事業計画サクセスクライテリアの詳細設定を策定
航空グリーンイノベーション関連事業創生可能性調査		
2024/7～2 月	事業調査委託	第７会委員会を開催（最終）竹 SAF 事業を調査推進

知的財産権研究会

開催日	会合名	内 容
2024/04/19	第 411 回 定例会 (福岡市)	「中国における人工知能をめぐる裁判例の紹介」 墾丁法律事務所　林 娜 氏 「地方弁理士の将来は…？第 20 回弁理士制度小委員会の資料から、現状と将来について考えてみる。」 kakeruIP 弁理士法人　下井 功介 氏
2024/05/17	第 412 回 定例会 (福岡市)	「著作権法と AI を巡る議論の到達点 ーー著作物性、権利の帰属、30 条の 4 問題」 佐賀大学　孫 友容 氏 「当事者死亡による著作権のライセンス契約の取扱い」 西南学院大学　原 謙一 氏
2024/06/21	第 413 回 定例会 (福岡市)	「産業構造変化における特許技術の対価負担考察」 TOPPAN 株式会社　嶺岸 隆行 氏、西村 友汰 氏 「情報セキュリティ 10 大脅威 2024 グループで機密情報を守るサイバーBCP 設計の要諦」 三井物産セキュアディレクション株式会社 藤岡 福資郎 氏
2024/07/19	第 414 回 定例会 (福岡市)	「知的生産活動における『資源管理』と法――学際的な議論に向けた準備作業」 九州大学　小島 立 氏 「クレーム解釈（令和２年（ネ）第 10144 号知財高裁判決に関する考察）」 日本製鉄株式会社　末永 哲也 氏
2024/08/23	第 415 回 定例会 (福岡市)	「海外サーバからの配信により日本国内におけるシステム特許の「生産」が肯定された事例」：知財高判令和 5.5.26 令和 4 年（ネ）第 10046 号 [ドワンゴ対 FC2] 福岡工業大学　橘 雄介 氏 「ワイン法 ～欧州と日本の観点から～」 平山法律事務所　平山 賢太郎 氏 「商標権と独占禁止法」 ボルドー大学ワイン法修士 吉村 充弘 氏
2024/9/20	第 416 回 定例会 (福岡市)	「岐路に立つ著作隣接権制度―生成 AI と実演の関係を中心に―」 東京大学　古場 和美 氏 「パラメータ発明の進歩性に関する事例 ～防眩フィルム事件～」 東京エレクトロン九州株式会社　山﨑 夏樹 氏
2024/10/18	第 417 回 定例会 (福岡市)	「パロディと著作権―ときどき商標、のち AI ―」 九州大学　安東 奈穂子 氏 「転売対策と消尽論」 関西学院大学　谷川 和幸 氏
2024/11/15	第 418 回 定例会 (福岡市)	「結合商標の類似性判断の現在」 福岡大学　平澤 卓人 氏 「① 2025 年度以降の会議ツールについて ② AI/生成 AI の知財業務への適用状況と活用について」 パナソニックＩＰマネジメント株式会社　下田 晴朗 氏
2024/12/20	第 419 回 定例会 (福岡市)	「AI と脳ととぎき知財と ～AI を、不安要素から幸せ要素に変えよう～」 株式会社 安川電機　村岡 次郎 氏 「情報交換（社内知財教育のこと、実績報奨金のこと、法律に関するちょっとした疑問など、参加者が日頃、会員の皆様に問うてみたかったことなどを自由に質疑応答）」
2025/01/17	第 420 回 定例会 (福岡市)	「当社船舶分野の侵害訴訟事件について」 三菱造船株式会社　谷口 真一 氏 「Tik Tok ビジネスにおける著作物の利用と使用」 株式会社西部技研　下茂野 香名江 氏
2025/02/21	第 421 回 定例会 (福岡市)	「当社船舶分野の侵害訴訟事件について（補足）」 三菱造船株式会社　谷口 真一 氏
2025/03/21	第 422 回 定例会 (福岡市)	「外野席から見た「アビガン」特許問題～厚労省が新型コロナ感染症薬として認めなかった結末と、中国人民解放軍の徹底した特許出願戦略」 北九州市立大学　石橋 一郎 氏 「公然実施による特許の無効化について」 株式会社三井ハイテック　桃田 大介 氏

九州 IR 推進協議会

開催日	会合名	内 容
2024/07/19	役員会（書面）	・令和５年度事業報告及び収支決算について ・令和６年度事業計画及び収支予算について
2024/11/15	役員会（書面）	・九州 IR 推進協議会の解散(2024/12/27)について

九州国際医療機構

開催日	会合名	内 容
2024/05/30	理事会	2023 年度事業報告・収支決算、及び 2024 年度事業計画・収支計画を審査し、総会（書面）に諮る ＜議題＞ ・2023 年度 活動報告 ・2023 年度 収支報告 ・2024 年度 事業計画 ・2024 年度 収支計画
2024/6/21	総会（書面）	理事会承認議案の決議
2024/7/18、9/24,11/28,2025/1/21	執行チームミーティング	幹事長をリーダーとしたプラン執行チームを新たに編成
2025/2/25	幹事会	2024 年度事業進捗報告
2025/2/25	幹事意見交換会	テーマ：「訪日外国人観光客の救急受入れリスク軽減（高額未収金等）

九州の食輸出協議会

開催日	行事の名称等
2024/06/18	2024 年度度総会
2024/9/19-10/3	台湾（大潤發）Jaoan フェア
2024/10/04	九州の食輸出協議会 2024 年度第 1 回定例会
2024/10/08-10/09	Food Expo（福岡商工会議所主催）セミナー実施
2024/10/24	PPIH（米国向け）九州フェア商談会
2024/11/13-11/14	Food Style Kyushu（イノベント主催）セミナー実施
2024/11/19～12/01	イオンカンボジア 九州フェア開催
2024/12/19	九州の食輸出協議会 2024 年度第 2 回定例会
2025/01/14-01/17	バイヤー招聘（台湾：ファルケン）
2025/01/28-01/29	バイヤー招聘（米国：カワ・コーポレーション）
2025/02/04-02/07	バイヤー招聘（米国：PPIH）
2025/02～03	PPIH（米国 ハワイ・カリフォルニア）九州フェア
2025/03/13	2024 年度九州の食輸出協議会、九州の食の輸出推進チーム合同会議

東九州軸推進機構

開催日	会合名	内 容
2024/04/25	第 1 回実務者会議 （オンライン）	＜議題＞ 第 34 回総会議案
2024/05/21	第 1 回幹事会 （書面開催）	＜議題＞ 第 34 回総会議案
2024/07/12	第 34 回総会 （宮崎市）	＜議題＞ ・ 2023年度事業報告、収支決算報告 ・ 2024年度事業計画(案)、収支予算(案) ・ 東九州地域の活性化推進に関する要望(案) ＜講演＞ 演題：「自動運転実用化の取組みとこれからの道路に期待すること」 講師：一般財団法人 日本自動車研究所 新モビリティ研究部 谷川 浩 氏

2024/07/11	東九州自動車道建設促進地方大会 （宮崎市）	＜主催団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 ＜大会決議＞ ・ 予算確保 ・ 未事業化区間の早期事業化 等、8 項目を決議 ＜講演＞ 演題：「東九州自動車道と経済を考察する」 講師：宮崎大学 学び・学生支援機構 副機構長 杉山 智行 氏
2024/08/16	東九州地域の活性化推進に関する要望（郵送）	＜要望団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ＜要望先＞ 国土交通省、内閣府、財務省、経済産業省、国会議員等
2024/10/16	東九州自動車道建設促進特別提言活動 (東京都)	＜主催団体＞ ・ 東九州軸推進機構 ・ 東九州自動車道建設促進協議会 ＜要望先＞ 国土交通省、財務省

下関北九州道路建設促進協議会

開催日	会合名	内 容
2024/05/13	第 1 回幹事会 （福岡市）	＜議題＞ ・2023 年度事業報告、収支決算報告 ・2024 年度事業計画、収支予算(案) ・下関北九州道路早期実現に関する要望(案) ＜講演＞ 演題：「高規格道路ネットワークについて 講師：国土交通所 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長補佐 藤木 厚志氏
2024/07/04	2024 年度総会 (書面開催)	＜議題＞ ・2023 年度事業報告、収支決算報告 ・2024 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・下関北九州道路早期実現に関する要望(案)
2024/07/22	下関北九州道路整備促進大会 （北九州市）	＜主催団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜大会決議＞ 1.国と２県２市が緊密に連携・協力し、環境影響評価や都市計画決定の手続きを着実に進めること 2.早期事業化に向けて、有料道路事業の導入や民間資金を活用したＰＦＩなど、効果的な整備手法の検討を促進すること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2024/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望（郵送）	＜要望団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 関門連携委員会中国経連、 ＜要望先＞ 国交省、財務省、自民党、公明党等
2024/08/23	下関北九州道路中央要望 （東京都）	＜要望団体＞ ・ 下関北九州道路建設促進協議会 ・ 中国経連、九経連、関門連携委員会 ・ 下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・ 下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟等 ＜要望先＞国交省、財務省、自民党、公明党

九州経済国際化推進機構

開催日	会合名	内 容
2024/04/23	2024 年度 第 1 回幹事会 (福岡市)	＜議題＞ ・ 2023年度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2024年度事業計画(案)、収支予算(案)
2024/05/31	2024 年度総会 (書面開催)	＜議題＞ ・ 2023年度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2024 年度事業計画(案)、収支予算(案)
2024/11/28	2024 年度 第 2 回幹事会 (福岡市)	＜報告事項＞ ・ 2024年度事業の進捗状況について ・ 2025年度事業に係るアンケート調査結果
アジア地域との経済・産業交流事業		
2024/09/16 ～09/21	九州・ベトナム経済交流ミッション 2025 事前協議 (ハノイ、ホーチミン)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2024/11/13 ～11/14	第 22 回環黄海経済・技術交流会議 (大分県別府市)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2025/02/14	ベトナム進出に向けた最新動向・食品販路拡大ウェビナー (オンライン)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2025/03/04 ～03/09	九州・ベトナム 経済交流ミッション 2025 (ハノイ、ホーチミン)	※「海外との経済交流」の項目を参照
海外ビジネス・経済情報提供事業		
2024/08/01 ～2025/03/12	海外展開支援セミナー (ハイブリッド・オンライン)	・海外展開支援施策説明会＆個別相談会 in 宮崎（8/01） ・ASEAN ウェビナー（09/03） ・海外ビジネスリスクマネジメントセミナー(10/30) ・海外展開支援施策説明会（03/12）
海外販路開拓支援事業		
2024 年度通年	九州産食品の海外販路開拓推進事業	※「九州の食輸出協議会」の項目を参照
2025/01/18 ～01/24	「Kura Master」招聘事業 (鹿児島県、長崎県、熊本県)	フランスにおいて日本産酒類の普及・啓発に取り組む Kura Master（パリ市公認協会）と本格焼酎・泡盛の蔵元視察、また、九州の本格焼酎の蔵元等の関係者との意見交換および本格焼酎のテイスティング会を開催
高度外国人材の獲得支援＜留学生等の活用＞		
2024/10/10, 12/04	高度外国人材獲得・活躍推進セミナー (オンライン)	「九州グローバル人材活用促進協議会」や「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」等と連携して、九州企業と留学生の就職促進に向けた「留学生のための合同会社説明会」を開催するとともに、「高度外国人材獲得・活躍推進セミナー」、「高度外国人材活躍推進フォーラム」を開催し、地域企業の海外展開やグローバル対応を支援。
2024/11/13	高度外国人材活躍推進フォーラム (大分県別府市)	
2024/11/22	高度外国人材活用支援事業（留学生のための合同会社説明会） (福岡市/ハイブリッド)	
投資促進（外国企業誘致）事業		
2025/02/13	インダストリアルツアーin Kyushu 2025 (宮崎県、鹿児島県)	九州地域への外資系企業の誘致や、外国企業と九州企業等との協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府関係機関等を対象として、九州の投資環境の説明、並びに、九州企業の現地視察等を行う「インダストリアルツアーin Kyushu 2025」を開催

九州大学学術研究都市推進協議会

開催日	会合名	内 容
2024/05/29	第１回通常理事会	＜決議事項＞ ・令和５年度　事業報告、財務諸表について ・令和６ 年度 定時評議員会の書面開催及び提出議案について ＜報告事項＞ ・職務執行状況報告
2024/06/14	令和６ 年度 定時評議員会（書面開催）	＜決議事項＞ ・ 令和５年度　財務諸表等 ・ 役員（理事）の選任について ＜報告事項＞ ・令和５年度　事業報告
2024/10/30	九州大学学術研究都市セミナーin 東京 2024	「九州大学の取組みや研究成果を首都圏で発信」 (場所：ホテル雅叙園東京)
2025/01/28	九州大学学術研究都市フォーラム	「九州大学発スタートアップ創出による価値創造へ向けて」 （場所：福岡市　電気ビル共創館）
2025/02/14	令和６年度 第２回通常理事会	＜決議事項＞ ・ 令和７年度 事業計画について ・ 令和７年度 収支予算について ＜報告事項＞ ・職務執行状況報告
2025/02/17	令 和 7 年 度 事業計画・収支予算	・評議員へ書面にて報告

九州エネルギー問題懇話会

開催日	会合名	内 容
2025/02/28	常任幹事会 (福岡市)	＜議題＞ ・ 2025 年度の役員体制について ・ 2024 年度事業報告 及び 決算報告について ・ 2025 年度事業計画 及び 予算計画について
2025/03/18	委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・常任幹事会議題と同一
2024/07/11	第１回 ｴﾈﾙｷﾞｰ・環境講演会 （オンライン）	＜演題＞ 「地球温暖化を巡る国内外情勢を踏まえた九州の地域戦略」 ＜講師＞ 常葉大学名誉教授　山本 隆三 氏
2024/11/01	第２回 ｴﾈﾙｷﾞｰ・環境講演会 (福岡市) ※日本原子力学会九州支部との共催 （ハイブリット）	＜演題＞ 「核燃料サイクルと放射性廃棄物の処理・処分の意義を考える」 ＜講師＞ 九州大学名誉教授　出光 一哉 氏
2025/01/23	第３回 ｴﾈﾙｷﾞｰ・環境講演会 （ハイブリット）	＜演題＞ 「エネルギーを巡る世界と日本の動き」 ＜講師＞ 慶應義塾大学大学院教授　岸 博幸 氏
2024/06/21	第１回 会員企業視察	＜視察先＞ ・ 九州電力㈱ 川内原子力発電所 ・ 日本地下石油備蓄㈱ 串木野基地 ちかび展示館
2025/03/25	第２回 会員企業視察	＜視察先＞ ・ 九州電力送配電㈱ 豊前蓄電池変電所 ・ ﾌｨｯｼｭﾌｧｰﾑみらい合同会社 豊前ﾌｧｰﾑ
2024/08/06 ～08/07	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ 研修・施設見学会 (第１回)	１日目：研修会 （エネルギー・環境教育の意義やエネルギー・環境問題の実情に関する講義、実験事例紹介及び意見交換） ２日目：大平発電所（揚水発電所）見学会
2024/11/02	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ 研修・施設見学会 (第２回) （オンライン）	研修会（先進授業事例紹介及び意見交換） ＜ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ＞ 長崎大学教育学部 教授　藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏 福岡教育大学教育学部 准教授 石橋 直 氏
2024/11/30 ～12/01	学生向け研修・施設見学会	１日目：九州電力㈱玄海原子力発電所見学会 ２日目：研修会 （実験事例紹介、エネルギー等をテーマにした模擬授業及び意見交換） ＜ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ＞ 長崎大学教育学部 教授　藤本 登 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏
2024/09/07	女性管理職・リーダーのためのエネルギー勉強会 第１回勉強会	研修会 講師：九州大学大学院 教授　守田 幸路 氏 テーマ：日本のエネルギー・環境問題の現状とこれからについて 講師：九州電力㈱地域共生本部 副長　相良 遥加 氏 テーマ：九州のエネルギー事情～九電グループの取組みを中心に～
2024/10/26	女性管理職・リーダーのためのエネルギー勉強会 第２回勉強会	九州電力㈱ 玄海原子力発電所見学会及び意見交換会 ＜ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ＞ 消費生活ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ 久留 百合子 氏
2024/06/12 ～06/14	第 128 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (宮城県・福島県)	＜視察＞ ・ 東北電力㈱ 女川原子力発電所、 ・ 東京電力 HD 福島第一原子力発電所
2024/09/24	第 129 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：福島第一事故後の放射線についての広報活動と福島の現在 講師：九州大学大学院　教授　藤本　望氏
2024/10/13	ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (北海道)	＜視察＞ ・ 日本原子力研究開発機構　幌延深地層研究ｾﾝﾀｰ
2025/03/13	第 130 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：ペロブスカイト太陽電池の特徴と産業実装の展望 講師：桐蔭横浜大学　医用工学部特任教授 宮坂 力氏
適宜	講演会 (九州各県)	＜議題＞ ・ エネルギー・環境問題や放射線について 次世代層、経済団体等　20 回　1,472 名

九州・沖縄地方産業競争力協議会

開催日	会合名	内 容
2024/11/11	第１３回九州・沖縄地方産業競争力協議会（福岡市）	＜議題＞ ・ 九州・沖縄Earth 戦略Ⅱ 各プロジェクトの進捗状況について ・ 九州・沖縄地方産業競争力協議会の今後の在り方について ・ 九州の持続的発展に向けた情報提供について

九州・沖縄文化力推進会議

開催日	会合名	内 容
2024/07/09	令和６年度九州・沖縄文化力推進会議幹事会	＜議題＞ 令和５年度事業報告及び決算報告 令和６年度事業計画及び予算、令和７年度事業計画(案)、博物館等連携部会
2024/07/30	令和６年度九州・沖縄文化力推進会議 (書面審議)	＜議題＞ 令和５年度事業報告及び決算報告 令和６年度事業計画及び予算、令和７年度事業計画(案)、博物館等連携部会
-	発行物	ミュージアム周遊パス（20,000 部）

(一社)九州 MaaS 協議会

開催日	会合名	内 容
2024/03/11	創立総会	・ 定款（案） ・ 設立時役員（案） ・ 会員規程（案） 他
2024/04/17	第１回臨時総会	・ 役員の選任 ・ 2024年度負担金･会費（案）他
2024/04/17	第２回理事会	・ 副会長･業務執行理事の選任 ・ 2024年度事業計画（案） ・ 2024年度収支予算（案）
2024/06/04	九州地域戦略会議	・ サービスイン記者発表
2024/07/22	第３回理事会	・ 今年度の事業計画進捗
2024/11/07	第４回理事会	・ 今年度の事業計画進捗について ・ 中期事業計画策定状況について ・ 職務の執行状況の報告
2025/02/20	第５回理事会	・ 2025年度事業計画（案） ・ 2025年度収支予算（案） ・ 事務局業務委託について
–	運営委員会	・ 全6回開催し、事業進捗報告や中期事業計画の策定、協議会会費の負担方法等の議論を行った

九州ＤＸ推進コンソーシアム

開催日	会合名	内 容
2024/4～ 2025/3	幹事会	・ 定例会議（月１回） ・ 各ＷＧの活動状況報告等
2024/4～ 2025/3	WG 活動	・ デジタル人材育成ＷＧ ・ 地域オペレータＷＧ ・ 社会課題(ウェルビーイング住宅･カーボンネガティブ) ＷＧ ・ 地域企業向けDX導入支援コンサル業ＷＧ ・ カーボンニュートラルＷＧ ・ 九州ID･データ連携ＷＧ ・ デジタル防災･減災ＷＧ
2024/5/30	第３回総会	＜次第＞ ・ パネルディスカッション 「産学連携によるデータサイエンス教育」 ・ コンソーシアムの活動報告 ・ WG活動プラン等年間活動計画
2025/1/21	地域課題ソリューション提案会	＜内容＞ 自治体の抱える地域課題に対するソリューション提案 ・ 業務効率化 ・ 公共交通分野 ・ 農林水産分野 ・ 防犯、防災分野 ・ 雇用促進 ・ 行政サービス、保険･医療 ・ 事例発表 「産官学共感プラットフォームの紹介」（宗像市）

Ⅵ 事務局の取組

【記者会見】

2024/06/04	第 45 回九州地域戦略会議（熊本市）
2024/06/06	第 64 回定時総会（福岡市）
2024/10/02	第 179 回理事会・審議員合同会議（福岡市）
2024/10/22	第 46 回九州地域戦略会議（長崎市）
2025/02/06	第 9 回九州・大学発ベンチャー振興会議（福岡市）
2025/03/12	第 75 回九州経済懇談会（福岡市）
2025/03/26	第 180 回理事会（福岡市）

【会長コメント発信】

2024/10/01	石破内閣発足にあたり
2024/10/28	第 50 回衆議院議員総選挙の結果について

【プレスリリース（資料提供）】

2024/04/11	九州 MaaS 協議会臨時総会の開催
2024/05/22	マイナビ ツール・ド・九州 ローカスプログラムスタート
2024/05/22	第 45 回九州地域戦略会議の開催
2024/05/28	第 64 回定時総会および記者会見の開催
2024/06/05	下関北九州道路整備促進大会の開催
2024/07/04	SDGs への貢献につなげる九州マッチング会「成果報告会」の開催
2024/07/22	九州 MaaS 協議会サービスイン記念イベントの実施
2024/07/24	第 9 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議及び共同記者会見の開催
2024/07/24	農林水産省 渡邊農林水産事務次官への本会要望書の手交
2024/07/30	九州地域戦略会議「第 21 回夏季セミナー」の開催
2024/08/08	エネルギー基本計画の見直しに向けた意見の取りまとめ
2024/08/20	大分地域委員会の開催
2024/08/23	熊本地域委員会の開催
2024/09/06	筑後地域委員会の開催
2024/09/24	鹿児島地域委員会の開催
2024/09/25	記者会見の開催
2024/10/11	第 46 回九州地域戦略会議の開催
2024/10/17	佐賀地域委員会の開催
2024/10/17	北九州・山口合同地域委員会の開催
2024/10/22	長崎地域委員会の開催
2024/10/31	【九州地区】地域脱炭素に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントの開催
2024/11/01	『ALL KYUSHU PASS』の販売開始
2024/11/08	第 22 回環黄海経済・技術交流会議（大分会合）の開催
2024/11/11	宮崎地域委員会の開催
2024/11/26	西日本経済協議会による政府等への要望活動の実施
2024/12/09	第 17 回沖縄連携フォーラムの開催
2024/12/23	九州地域戦略会議 台湾訪問団
2025/01/23	大分地域委員会の開催
2025/01/29	第 9 回九州・大学発ベンチャー振興会議及び共同記者会見の開催
2025/01/31	マイナビ ツール・ド・九州 2024×Locus（ローカス）プログラム成果報告
2025/02/19	九州経済四団体による「価格転嫁の商習慣の定着」に向けた共同宣言
2025/02/26	第 75 回九州経済懇談会の開催
2025/03/11	熊本・鹿児島合同地域委員会の開催
2025/03/18	記者会見の開催
2025/03/19	下関北九州道路シンポジウムの開催

【要覧等】

2024/07	九経連要覧

【会報誌】

4,7,10、1 月	九経連四季報「あすの九州・山口」

Ⅶ　本会要望・意見等

2024/06	**こどもまんなか九州宣言　～ こども・若者の明るい未来を応援する九州へ ～** **（共同宣言　於　九州地域戦略会議）　以下、抜粋** 次代を担うすべてのこどもが健やかに成長でき、併せて、若い世代の誰もが将来に明るい希望を持ち、希望する誰もが安心して結婚し、こどもを生み、男女ともに育てることができる「こどもまんなか九州」を実現し、全国を牽引する地域となるよう、官民連携による「オール九州」で、以下について重点的に取り組むことをここに宣言する。 1　結婚、出産、子育ての希望が叶うよう、職場や地域社会全体で応援する気運醸成 2　こどもが将来いきいきと活躍できるよう、その健やかな成長やチャレンジを支援 3　若い世代の所得向上や各家庭の事情に合わせた柔軟な働き方の実現 4　女性が能力を発揮し、安心して働ける職場環境づくり 5　男性が当たり前に家事や育児を担うための意識改革・行動変容
2024/08	**国の施策に関する要望　～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～** 農林水産業の事業基盤強化及び成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進を中心に、農林水産省に対し、主に以下の項目を要望 1　(農畜産業)生産者の所得向上等につながる農畜産物・食品の輸出促進と高付加価値化 2　(林　　業)国産木材の利用促進（木造建築物の推進・誘導）および森林保全、整備活用に関する事 3　(水 産 業)養殖業の産業競争力強化の国家戦略としての推進
2024/08	**九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望** 地域経済の一体的な発展を促進し、地方創生を実現するため、九州域内の道路、鉄道、港湾、空港の整備促進全般について、以下の項目を要望 1　道路整備等について 2　鉄道整備等について 3　港湾整備等について 4　空港整備等について 5　地域交通及び物流機能の維持・確保について
2024/08	**東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)** 東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備及び南海トラフ巨大地震への備えとして防災・減災、国土強靭化のための社会資本の整備などを求め、以下の項目を要望 1　循環型高速交通網の整備拡充（高規格道路等の整備促進） 2　交流・連携に不可欠な社会資本の整備 3　産業振興・地域活性化の促進

2024/08	**下関北九州道路の早期実現に関する要望** **(下関北九州道路建設促進協議会・関門連携委員会)** 既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル及び関門橋の代替機能の確保、循環型ネットワーク形成による下関北九州地域の一体的発展、さらには、国土強靭化を進めるためにも、下関北九州道路の早期事業着手が進められるよう、以下の事項を要望。 1　下関北九州道路の早期実現を図ること 2　事業化に向けて、必要な調査を遅滞なく実施するとともに具体的な方策の検討を進めること 3　これらの調査・検討に必要な予算を確保すること
2023/10	**地方創生 九州宣言２０２４ ～ 九州から日本を明るく、元気に ～** **（共同宣言 於 九州地域戦略会議） 以下、抜粋** 官民が双方のリソース（人・資金）を集中し、九州地域の変革と持続的な発展に向けて、スクラムを組んで広域で連携することによってより大きな効果を創出する「ＱＸプロジェクト（九州トランスフォーメーションプロジェクト）」に挑戦し、様々な分野で躍動する九州をさらに前へと押し進め、九州から日本を明るく、元気にしていくことを、ここに宣言する。 ＜ＱＸプロジェクト＞ 1 九州・山口ベンチャー支援 PJ 2 新生シリコンアイランド九州 PJ 3 子育てランド九州 PJ 4 九州 MaaS PJ 5 サイクルツーリズムの聖地・九州 PJ 6 防災・減災 DX PJ 7 「九州の食」輸出促進 PJ
2024/11	**強靭で魅力に溢れる地域の創生を目指して～未来を拓く西日本からの提言～** **（西日本経済協議会）** 1 イノベーションの促進による成長産業の創出 2 GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた取り組みの推進 3 地方創生の強力な推進と未来社会の創造 4 広域連携と国土強靭化に向けた社会基盤整備

報告事項２－１

2025 年度 事業計画

Ⅰ．基本的考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ．事業の概要（主な活動・ＫＰＩ） ・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅲ．具体的な活動内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅳ．理事会・総会等の主要スケジュール ・・・・・・・・・・・ １３

（付１）活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局） ・・・・・ １４

（付２）関連協議会等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

Ⅰ　基本的考え方　～ 第２期中期計画 ２年目 ～

本会は 2021 年に**「九州将来ビジョン 2030」**を公表し、3 つのありたい姿「新たな時代の成長エンジン」「心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ」「自立型広域連携アイランド」を掲げた。

同ビジョンの実現に向けて策定した 3 年毎の中期事業計画は、昨年度から第 2 ステップに入った。この**第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）**では、「“九州から日本を動かす”新たな価値の創出 ～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦」をテーマとし、**「11 の重点戦略」**と「具体的取組」を設定している。

2025 年度は、600 兆円規模の日本経済が緩やかに成長する見通しである。その約 1 割を担う九州も、民間消費の回復と、半導体関連産業での近年の設備投資が生産に結び付き始め、3 年連続で日本全体を上回る成長となる見通しである。

一方で、世界経済は日本経済より一段と成長幅が大きいと予測されている。日本の GDP は、2023 年のドイツに続き、2025 年中にインドに抜かれて世界 5 位となるとの予測もあり、**世界における日本の地位低下が進行する見込みである**。

こういった中、**日本政府は、地方こそ成長の主役とする「地方創生 2.0」を掲げ**、人口規模が縮小しても経済成長できるよう、東京一極集中の是正や付加価値創出型の新しい地方経済創生などへ向けた施策を本格化させようとしている。

本会は、これまでの取組を強化し、着実に推進していくことが、まさに東京一極集中の是正といった国の目指すゴールに結びつくものと考える。2025 年度も、会員・地域の声を反映しながら、**「九州将来ビジョン 2030」の実現へ向けた本質的な課題の解決に取り組んでいく**。

具体的には、**新生シリコンアイランド九州の実現**に向けた取組を強化するとともに、**農林水産業の振興と輸出拡大**など九州の強みを活かしながら九州の**成長エンジン**を伸ばしていく。また、地方創生 2.0 の追い風をとらえ、**若者・女性に選ばれる地域づくり**を推進するとともに、九州全域の**賃上げ機運の醸成**を図り、**成長と分配の好循環を実現**していく。更に、九州の産学官のまとまりの良さを活かし、**九州 MaaS** やデジタルを活用した**災害対策の高度化**などハード・ソフト両面からインフラ整備を推進し、**自立型広域連携アイランド**を目指していく。

九州は、1 国に相当する規模を有しており、世界、日本の中でも注目される地域である。半導体関連産業の集積や農林水産業が盛んであること、クリーンで安価なエネルギーに恵まれていること、全国に比べ出生率が高いこと、伸びゆくアジアに近いことなど、多くの強みも有している。

本会は、これらの強みを活かしながら、九州の各地域が持つポテンシャルを引き出し、官民連携や広域連携といった九経連ならではの視点・手法により、九州を元気にし、九州から日本・世界の明るい将来に貢献していけるよう取り組んでいく。

2025年度 事業計画　基本的考え方

九州将来ビジョン2030

2021年、創立60周年の節目に『**九州将来ビジョン2030**』を策定。
2030年の九州の「ありたい姿」の実現に向けて、
原則3年ごとに「中期計画」を策定し、3ステップで取り組んでいます。

ありたい姿

Ⅰ 新たな時代の**成長エンジン**
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立～

Ⅱ 心の豊かさを成長につなぐ**幸せコミュニティ**
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～

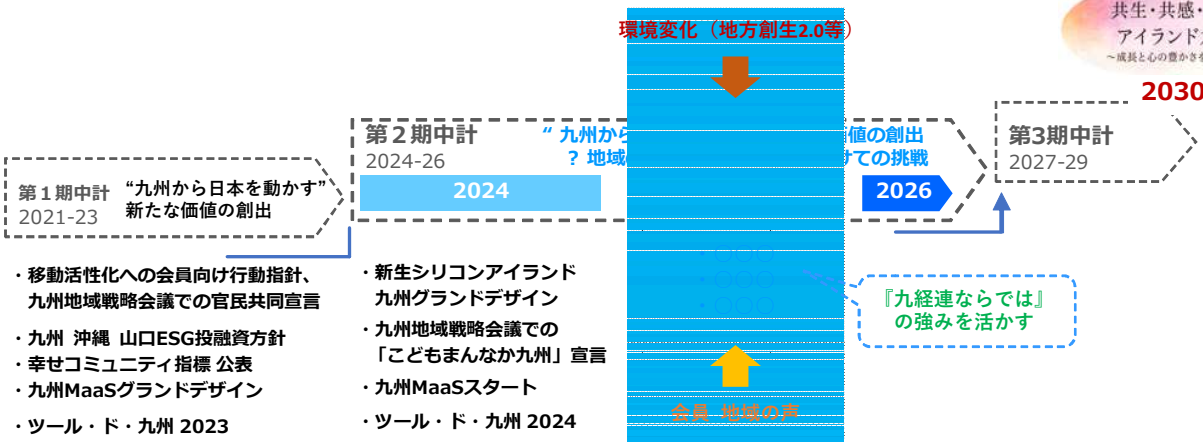
Ⅲ **自立型広域連携アイランド**
～九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支える～

共生・共感・共創
アイランド九州
～成長と心の豊かさをともに～

2030年

第2期中期計画(3ヵ年)

2024年度からの**第2期中期計画（2024～2026年度）**では、
「“ 九州から日本を動かす ” 新たな価値の創出
？ 地域の声を活かした？ 躍に向けての挑戦 」を基本方針に取り組む。
具体的には、「11の重点戦略」と「具体的取組」に沿って、活動を展開。



2025年度 事業計画　基本的考え方　（ビジョンと中期計画に基づく単年度計画）

＜ 2025年度方針 ＞
2025年度は、新生シリコンアイランド九州の実現に向けた取組を強化するとともに、農林水産業の振興と輸出拡大など九州の強みを活かしながら九州の成長エンジンを伸ばしていく。また、地方創生2.0の追い風をとらえ、若者・女性に選ばれる地域づくりを推進するとともに、九州全域の賃上げ機運の醸成を図り、成長と分配の好循環を実現していく。更に、九州の産学官のまとまりの良さを活かし、九州MaaSやデジタルを活用した災害対策の高度化などハード・ソフト両面からインフラ整備を推進し、自立型広域連携アイランドを目指していく。

第2期中期事業計画
11の重点戦略
（2024～26年度）

新たな時代の成長エンジン

1.「新生シリコンアイランド九州」の実現
2.各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援
3.GX推進および将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組
4.産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援
5.アジア地域諸国・世界との連携強化
6.産学官連携による高度専門人材の育成支援



第2期中期事業計画
11の重点戦略
（2024～26年度）

幸せコミュニティ形成

7.九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組
8.多様性・包摂性ある風土の醸成
11.九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

自立型広域連携アイランド

9.ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進
10.地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援

Ⅱ　事業の概要（主な活動・ＫＰＩ）

11 の重点戦略 （2024～26 年度）	主な活動（2025 年度） ※【継】昨年度から継続　【新】今年度新規性有り	主なＫＰＩ（2025 年度） ※青字：新たな設定・上方修正（対昨年度）
1.新生シリコンアイランド九州の実現 ～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組	▷会員企業および九州地域戦略会議と連携した課題解決の取組み推進【継】 ▷半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致支援【継】 ▷次世代自動車や産業用ﾛﾎﾞｯﾄ、AI 等の半導体応用分野に関する調査・研究【新】	▷ビジネスエコシステム中核拠点の整備に取り組む自治体１団体以上 ▷日台協業の枠組み構築、日台企業による協業１件以上
2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	▷九州地域戦略会議「九州の食輸出促進」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行【継/新】 （現地市場ニーズ分析、オール九州フェア、輸出支援機能強化について、官民一体の食輸出推進チーム、九州の食輸出協議会等により支援強化） ▷地域農業を地域企業で支える”人的支援”の取組強化【継】 （援農アプリ活用＋企業からの人材派遣の仕組みづくり） ▷耕作放棄地対策の企業参入優良事例の調査、及び自治体連携モデル作成【新】 ▷九州産木材の需要創出に向けた課題整理、周知具体策の展開【継】 ▷「地域 DX 促進活動支援事業」の実施【継】	▷九州フェア開催５件、招聘バイヤー２件 ▷農業労働力支援企業５社 企業人材派遣スキーム策定 ▷耕作放棄地対策モデル策定 ▷非住宅木造、木質化の新規計画３件以上 ▷DX ｾﾐﾅｰ等１回、DX ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ１回
3. GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	▷会員企業を対象としたアンケートによる取組み状況把握および課題集約、結果を踏まえた情報発信および脱炭素取組支援【新】 ▷脱炭素技術を有する企業と自治体のマッチングイベントの共催等を通じた地域脱炭素化支援【継】 ▷ＥＳＧ投融資拡大に向けた金融機関の取組支援【継】 ▷電化・ﾒﾀﾈｰｼｮﾝｶﾞｽ・蓄電池等の社会実装に向けた情報発信と協業支援および再エネや原子力など脱炭素電源の最大限活用に資する情報の発信・要望活動等 再エネに係る新技術の調査・研究 再エネ産業化推進支援【継】 ▷サーキュラーエコノミーの意識啓発に資する講演会等を通じた情報発信、動静脈産業連携の支援【継】	▷ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ参加自治体・企業の満足度向上［90%］（参考：2024 年度 83%） ▷ESG 投融資拡大に向けたインパクト宣言・事例共有の実施
４．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	▷「九州・大学発ﾍﾞﾝﾁｬｰ振興会議」や「九州・山口ﾍﾞﾝﾁｬｰﾏｰｹｯﾄ」等への参画【継】 ▷ 九州におけるベンチャー支援団体・自治体による連携した取組みの促進【継】 ▷ ベンチャー・スタートアップと会員企業との連携促進【継】	▷連携促進施策　１件以上 （連絡会設立や団体間の新たな連携施策など）
５．アジア地域諸国・世界との連携強化	▷タイ経済交流ミッションの派遣（2025 下期）【新】 ▷九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ in ﾊﾉｲ(KPC)の周知広報活動【継】 ▷World One Health Congress 2028等国際会議誘致支援【継】	▷参加企業 10 社 30 名 ▷KPC 月間来場者 1,000 名
６.産学官連携による高度専門人材の育成支援	▷ICT 人材育成インターンシップの九州広域展開に向けた、未参加エリア（県）の会員企業、大学への参画の働きかけ【継】	▷ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加 15 社/20 名、参画拡大（県・企業・大学　各１つ以上）
7. 九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組	▷構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて、九州各県における賃上げの動向を調査し、会員企業等へ働きかけ【継】	▷総会・地域委員会、九州地域戦略会議等での働きかけ
8. 多様性・包摂性ある風土の醸成	▷九州地域戦略会議「子育てランド九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行【継/新】 （男性育休２週間取得 100%を要件とした認証制度の創設）	▷九州各県・団体統一の認証制度の創設
9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	▷事業化・事業の早期実現に向けた要望活動、インフラ整備対応強化【継】 ▷九州における広域データ連携の在り方に関する検討 ▷九州地域戦略会議「九州 MaaS」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行【継/新】 ・地域経済の活性化につながる取組の推進 （観光・イベント等地域のコンテンツとの連携、インバウンド誘致等） ・官民共創事業の実施（移動円滑化、移動需要の創出、持続可能な地域交通の構築）	▷要望事業による着実な整備進捗 ▷ QDP の必要性整理 構成・認証 ID・機能等の草案 ▷事業計画に定める事業評価指標の実現
10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	▷九州地域戦略会議「防災・減災対策高度化」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行【継/新】 ・災害情報活用における広域連携の実証・実装（「PREIN」活用） ・初動対応方針の策定、情報の標準化及び出口戦略の検討 ▷九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽによる新たなサービス実証等の共創事業【継】	▷特定県を起点とした複数県連携の実証３件 初動対応方針１件の整備とその情報の標準化 ▷共創事業２件
11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷九州地域戦略会議「サイクルツーリズムの聖地・九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行【継】 （「ツール・ド・九州 2025」開催、サイクルスポーツ起点の観光振興） ▷人材確保・活躍に資する取組（副業人材、若者定着、留学生）【継/新】 （「企業間人材共有モデル」実証、探究学習プログラム「Locus」活用、高度外国人材活躍地域コンソーシアム・大学等との協働） ▷交流・関係人口拡大に向けた取組【継】 （九州国立博物館 20 周年への誘客支援、九州と本州の連携強化・関門地域の一体的発展施策実施、九州国際医療機構による医療渡航者誘致と受入体制強化） ▷幸せコミュニティ推進に資する取組（健康経営）【新】 （「WE-Net 九州」研修会を通じた、健康経営に関する課題解決プラン・提言）	▷「ツール・ド・九州」ビジョン策定 ▷地域実践事業×5 エリア （モデルの実証及びそれに資する取組２件、外国人材の協働事業３件以上） ▷地域実践事業×3 エリア （九国博と九州 MaaS との連携策実施、関門ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ・観光分野調査、医学関係学会との連携・海外への情報発信）

＜参考＞　2024 年度　振り返り

11 の重点戦略 （2024～26 年度）	**主な活動（2024 年度）** ※【継】昨年度から継続　【新】今年度新規性有り	**主なＫＰＩ、達成状況**（2024 年度 3 月末） ◎:達成　▲:未達成
1.新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州の実現 ～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組	▷「新生ｼﾘｺﾝｱｲﾗﾝﾄﾞ九州」実現へ、全体像・課題を整理【新】 ▷台湾企業との協業支援、海外ミッション派遣【新】	▷協議体設置（6 月戦略会議）・WG 始動 ◎[情報連絡会 始動（8 月、戦略会議）、半導体戦略専門部会 始動（9 月、九経連）] ▷協業モデル構築 ▲[日台協業のﾌｫｰﾗﾑ開催（12 月）、日台協業の枠組み構築・協業開始は次年度予定]
2．各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	▷「地域 DX 促進活動支援事業」の実施【継】 ▷海外小売店での九州フェア開催（各県出品拡大）【継】 ▷企業研修への農業カリキュラム導入や援農アプリ活用【継】 ▷耕作放棄地の活用モデルの検討【新】 ▷中山間地における「スマート農業導入モデル」各県展開【継】 ▷九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約・活用【継】	▷支援企業 25 社 ◎[54 社] ▷九州フェア開催 5 ヵ国・地域 ▲[3 ヵ国・地域（5 件）] ▷農業労働力支援企業 3 社 ◎[8 社] ▷（◎耕作放棄地優良事例調査 5 件） ▷モデル活用事例 3 件 ◎[3 件] ▷木造非住宅の新規計画 1 件以上 ▲[0 件]
3．GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	▷技術保有企業と自治体の脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ共催【継】 ▷ESG 投融資の拡大に資する県域を越えるﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの組成【継】 ▷再エネ主力電源化や原子力最大限活用、水素の利活用等の国要望【継】	▷選定地域 3 件/1 回 ◎[3 件] ▷広域連携ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ組成 1 件 ▲[0 件]
4．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	▷九州域外からの資金調達支援【継】 ▷域外への九州発スタートアップの魅力の発信【継】 ▷ﾍﾞﾝﾁｬｰｷｬﾋﾟﾀﾙや投資ﾌｧﾝﾄﾞ等との連携及び支援【継】	▷資金調達率全国比 3.5% ▲[2.89%（第 2Q 時点）] （出所：Japan Startup Finance 2024）
5．アジア地域諸国・世界との連携強化	▷ベトナム経済交流ミッションの派遣（2025.3）【継】 ▷九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ in ﾊﾉｲ(KPC)のプロモーション【継】 ▷World One Health Congress 2028 等国際会議誘致支援【新】	▷参加企業 20 社 50 名 ▲[19 社 34 名] ▷KPC 月間来場者 1,200 名 ▲[約 900 名]
6.産学官連携による高度専門人材の育成支援	▷「受入企業・参加学生の拡大方法」「ｽｷｰﾑ・運営方法」等の課題整理を行い、実施スキームを策定【継】	▷ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加 13 社/22 名 ▲[13 社/15 名] 九州広域への拡大スキームの策定 ▲［ｽｷｰﾑ策定未達］（企業・大学の個別訪問のみ）
7．九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組	▷九州地域戦略会議への九州経済四団体共同の取組報告、九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ【新】	▷九州全県での支援拡充 ▲[5 県が拡充]
8．多様性・包摂性ある風土の醸成	▷九州目線でのジェンダー平等推進へ、法整備提言【新】 ▷女性管理職ﾈｯﾄﾜｰｸ「WE-Net 福岡」の九州広域化【新】 ▷全企画部会等への会員企業女性管理職の参画促進【新】	▷取組方針を変更 ◎[九州地域戦略会議「こどもまんなか九州」宣言～次期ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ策定へ] ▷WE-Net「九州」研修会 2025.1 開始 ◎[12 月開始 40 名参加] ▷女性管理職の参画 10 名以上 ◎[12 名/6 部会]
9．ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	▷事業化・事業の早期実現に向けた大会開催等【継】 ▷「九州広域ﾃﾞｰﾀ連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ（QDP）」の検討【継】 ▷オープン/パーソナルデータのユースケース選出、PoC 等の実施による課題整理【継】 ▷デジタル認証 ID 導入へ、サービスを比較検討【継】 ▷九州 MaaS「協議会」設立、「ｻｰﾋﾞｽ」開始【継】	▷要望事業の着実な整備進捗 ◎[実施済] ▷データ連携基盤の在り方の決定 ▲[未決定] ▷ユースケースの決定 ◎[決定済] ▷デジタル認証 ID の決定 ▲[未決定] ▷設立総会：4 月、ｻｰﾋﾞｽ開始：8 月頃◎[8/1 開始]
10．地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	▷災害情報活用における広域連携へ、PoC 実施【継】 ▷瞬低・瞬停ﾘｽｸ低減へ、落雷予測技術の有効性検証【継】 ▷サービスの企画・検討（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ活用）【継】	▷広域連携の実証 2 件以上 ◎[5 件] ▷予測情報サービス実証 5 社 ◎[4 社 7 工場] ▷企画・PoC 準備 1 件 ◎[2 件]
11．九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷ツール・ド・九州 2024 と持続可能な運営を支援【継】 ▷大会をフックとした地域活性化事業の協業支援【継】 ▷外国人材活躍による人材確保施策の推進【新】 ▷交流・関係人口拡大に向けた取組【継】	▷2025 大会開催県拡大 ◎[3→5 県] ▷地域活性化事業×開催 3 ｴﾘｱ ◎[3 ｴﾘｱ] ▷人材確保に資する取組 ◎4 件（期中に設定） ▷地域資源活用ﾓﾃﾞﾙ創出 x 2 ｴﾘｱ ◎[2 ｴﾘｱ]

Ⅲ　具体的な活動内容

第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）における「重点戦略」の「具体的取組」に沿って、2025 年度の活動計画を記載。

重点戦略１　「新生シリコンアイランド九州」の実現　～半導体応用産業と半導体関連産業を中心としたビジネスエコシステムの構築とまちづくり等に向けた取組

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　会員企業および九州地域戦略会議と連携した課題解決の取組み推進

・地域の既存産業の特徴や産業政策に応じたビジネスモデルの創出
・ビジネスエコシステム中核拠点の整備促進
・日台協業によるサプライチェーンの強靭化に向けた取組みの推進
・九州地域戦略会議の九州創生アクションプランに基づく、官民連携施策の実施

【*KPI*】　ビジネスエコシステム中核拠点の整備に取り組む自治体 1 団体以上

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

②　半導体ユーザー企業及び半導体関連企業の誘致支援

・台湾企業との協業の枠組み構築と協業支援
・半導体ユーザー企業及び半導体関連企業の九州進出に係る情報収集と誘致支援

【*KPI*】　日台協業の枠組み構築、日台企業による協業 1 件以上

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

③　半導体応用分野（次世代自動車等）に関する調査・研究

・次世代自動車（EV、SDV、自動運転等）や産業用ロボット、AI 等の半導体応用分野に関する調査・研究

重点戦略２　各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援

〔地域共創委員会〕

具体的取組

①　食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施

・　九州地域戦略会議「九州の食輸出推進」プロジェクト実行
（現地市場ニーズ分析、オール九州フェア、輸出支援機能の強化 等）

・ 輸出支援機能の強化へ、「九州の食の輸出推進チーム*」の構成８機関が持つアセットを活用した協業深化（マーケットインの商品開発支援等）

＊輸出支援８団体：九州農政局、農研機構、農林中金、九商連、中小機構、JETRO、九経連、九州経済産業局

・ 現地系小売店の販路開拓へ、「九州の食輸出協議会（事務局：九経連」を受け皿にした地元食品等輸出支援（海外小売店での九州フェア、バイヤー招聘等による新規開拓）

【*KPI*】九州フェア開催５件、招聘バイヤー2 件

〔地域共創委員会〕

具体的取組

② 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援

・ 「地域農業を地域企業で支える仕組み」を基点とした、人的支援の取組強化

＜農業体験＞ 企画研修への農業カリキュラム導入や援農マッチングアプリ活用
＜人材派遣＞ 企業からの人材派遣の仕組みと農家の受け皿づくり（農業団体と連携）

【*KPI*】農業への労働力支援企業５社、企業人材派遣スキーム策定

・ 耕作放棄地対策の企業参入優良事例の調査、及び自治体連携モデル作成

【*KPI*】耕作放棄地対策モデル策定

・ 域外企業の九州農業参入のため、九州各県一体となった課題解決に資するセミナー・シンポジウムを開催（経団連共催事業）

〔地域共創委員会〕

具体的取組

③ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

・ 九州産木材の需要創出に向けて、非住宅木造建築物普及に関する課題整理･対応策の検討、及び木造・木質化のメリット周知による PR 活動（林業専門部会「モクビル研究会」）

【*KPI*】モクビル建設・既存建築物の木質化に関する新規計画３件以上

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

④ 九州全域での中堅・中小企業に対する DX 支援の推進

・ 地域ニーズに合わせた中小企業向け DX 推進啓発活動の実施（セミナー・講演会 等）

・ 各地域の DX 支援団体や九州 DX 推進コンソーシアム、自治体と連携した中小企業向け DX 支援施策の実施（相談会、マッチングイベント 等）

【*KPI*】DX 啓発活動１回、DX 実践施策１回

重点戦略３　GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

①　脱炭素社会の早期実現に向けた意識醸成や協業支援等の取組み

- 会員企業を対象としたアンケートによる取組み状況把握および課題集約
- アンケート結果を踏まえた情報発信および脱炭素取組支援
- 脱炭素技術を有する企業と自治体のマッチングイベントの共催等を通じた地域脱炭素化支援

【KPI】イベント参加者の満足度 90%以上

- ESG 投融資の拡大に向けた金融機関の取組み支援

【KPI】ESG 投融資拡大に向けたインパクト宣言・事例共有の実施

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

②　電力需要増加を見据えたエネルギー安定供給に資する取組み

- 電化・メタネーションガス・蓄電池等の社会実装に向けた情報発信と協業支援
- 再エネや原子力などの脱炭素電源の最大限活用に資する取組み（情報発信、要望活動等）
- 再エネに係る新技術の調査・研究、及び再エネ産業化推進支援

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

③　サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現に向けた取組み

- サーキュラーエコノミーの意識啓発に資する講演会等を通じた情報発信
- 動静脈産業連携の支援

【*KPI*】講演会等参加者の理解度 80%以上

重点戦略４　産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　ベンチャー支援活動への参画および各支援団体・自治体間の連携促進

・「九州・大学発ベンチャー振興会議」や「九州・山口ベンチャーマーケット」等への参画
・九州におけるベンチャー支援団体・自治体による連携した取組みの促進
・ベンチャー・スタートアップと会員企業との連携促進

【*KPI*】連携促進施策（連絡会設立や団体間の新たな連携施策など） 1 件以上

重点戦略５　アジア地域諸国・世界との連携強化

〔総務国際部〕

具体的取組　① MOU 締結先の企業と九経連会員企業との交流機会の提供

・ タイへの経済交流ミッションの派遣（タイで課題となっているヘルスケア分野を中心に、タイ投資委員会ほか関係機関と事前協議の上テーマを設定）※下期派遣予定

【*KPI*】ミッション参加企業 10 社 30 名

・ 国内外の媒体や各種会合等を活用した九州プロモーションセンターin ハノイ(K.P.C.)の周知広報活動を引き続き実施

【*KPI*】K.P.C.月平均来場者数 1,000 名

〔総務国際部〕

具体的取組　② 他団体と連携した MICE 等誘致支援

・ 「World One Health Congress 2028 福岡大会」など域内への国際会議誘致支援

重点戦略６　産学官連携による高度専門人材の育成支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組　① 先導的 ICT 人材育成事業（インターンシップ）の推進と九州広域展開

・ ICT 人材インターンシップ事業の九州広域展開に向けた、未参加エリア（県）の会員企業、大学への参画の働きかけ

【*KPI*】・インターンシップ参加 15 社/20 名
・拡大=新規 1 県以上、企業 1 社以上、大学 1 校以上

重点戦略７　九州地域の経済・産業の活性化による所得・給与向上の取組

〔経営企画室〕

具体的取組　① 適正な価格転嫁による成長と分配の好循環の実現

・ 構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて、
九州各県における賃上げの動向を調査し、会員企業等へ働きかけ

【*KPI*】総会・地域委員会・九州地域戦略会議等での働きかけ

重点戦略８　多様性・包摂性ある風土の醸成

〔地域共創委員会〕

具体的取組

①　ジェンダー主流化の取組

・　九州地域戦略会議「子育てランド九州」プロジェクト実行
（男性育休２週間取得 100%を要件とした認証制度の創設　等）

・　女性活躍推進に向けた具体的取り組みと、オール九州での風土醸成
＜WE-Net 九州＞　女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」研修会実施と、九州各地からの参画促進
（2024 年度に「WE-Net 福岡」事務局を九経連へ移管し「WE-Net 九州」に改称）
【KPI】九州各地域からの参画（福岡以外 8 名以上/2026 年度）

＜九経連各部会＞　九経連活動への更なるダイバーシティ視点の取り込みのため、全ての委員会の企画部会等を対象に、会員企業の女性管理職の参画促進
【*KPI*】女性管理職の参画 15 名以上

重点戦略９　ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進

〔交通委員会〕

具体的取組

①　インフラ整備の事業化及び事業の早期実現に向けた要望活動

・　事業化・事業の早期実現に向けた要望活動、インフラ整備対応強化
地域の産業振興を目的として、基盤となるインフラ整備の強力な推進のため、事業化及び事業の早期実現に向けた活動（機運醸成・促進大会開催・要望活動）の実施

＜道　路＞　循環型高速道路（高規格道路）の早期整備
東九州自動車道､九州中央自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路、中津日田道路、中九州横断道路、下関北九州道路、島原・天草・長島架橋構想など

＜空　港＞　地域拠点空港としての確実な整備
福岡空港の滑走路処理容量拡大及び空港アクセスの向上、訪日誘客支援空港整備支援
各県空港間の連携によるインバウンドの招致・回遊促進

＜鉄　道＞　地域間格差の是正
西九州新幹線における新鳥栖駅～武雄温泉駅間の整備促進、東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

＜港　湾＞　国際拠点港湾としての機能向上と整備促進

＜地域交通及び物流機能維持・確保＞
地域交通の移動手段を維持・確保するための財政支援など

【*KPI*】要望事業による着実な整備進捗

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

② 九州における広域データ連携のあり方に関する検討

・ 九州広域データ連携プラットフォーム（QDP）のユースケースやコスト低減効果の調査・検討を踏まえた、ＱＤＰの必要性の整理

【*KPI*】QDP の必要性の整理

・ QDP の構成や認証 ID、機能等について、ユースケース及び各県等が構築済のデータ連携基盤の状況等を踏まえて草案を作成

【*KPI*】QDP の構成・認証 ID・機能等の草案

・ QDP の構築及び運営における体制、並びに運用ルールについて、九州域内・域外の先行事例を調査・研究

〔交通委員会〕

具体的取組

③ 九州 MaaS の推進

・ 九州地域戦略会議「九州 MaaS」プロジェクト」実行

<地域経済の活性化につながる取組の推進>
観光・イベント等地域のコンテンツとの連携、インバウンド誘致等

<官民共創事業の実施>
移動円滑化、移動需要の創出、持続可能な地域交通の構築

【*KPI*】九州 MaaS 協議会事業計画に定める事業評価指標の実現

重点戦略 10　地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援

〔地域共創委員会〕

具体的取組

① 防災 DX の官民共創（災害対策高度化支援、防災対策サービスの官民共創、広域連携の仕組みづくり）

・ 九州地域戦略会議「防災・減災対策高度化」プロジェクト実行
（オール九州の効果的な連携体制構築、先端技術や DX 導入による災害対策の高度化）

<連携体制> 広域災害時における初動対応方針の策定及び各県間で共有すべき情報の標準化と、これらの情報を効果的に活用する出口戦略の検討

【*KPI*】１件の整備とその情報の標準化

<高度化> 災害情報活用プラットフォームを用いた広域連携の実証・実装

【*KPI*】特定県を起点とした複数県連携の実証３件

・　「九州防災 DXタスクフォース」会員企業のリソースを活用したサービスの実証等の共創事業

【*KPI*】共創事業２件

重点戦略 11　九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

〔地域共創委員会〕

具体的取組　① 地域への経済効果の最大化を目的とした「ツール・ド・九州」の開催

・　九州地域戦略会議「サイクルツーリズムの聖地・九州」プロジェクト実行
  - プロジェクトの核「ツール・ド・九州 2025」の開催
  - 大会の全県展開、持続的開催に向けたビジョン・運営体制の検討
  - 「サイクリングアイランド九州」事業の面的展開、年間通じた誘客イベント等

【*KPI*】「ツール・ド」ビジョン策定

・　ツール・ド・九州と地域活性化事業との協業支援

・　第三期九州観光戦略の推進（大規模イベント等を活用した九州の魅力発信）

〔地域共創委員会〕

具体的取組　② 地域に根差した連携事業（産学官民協働）の展開

<人材確保・活躍推進>　【*KPI*】地域実践事業 x5 エリア

・　柔軟な働き方・雇用の多様性による都市人材と地域との「人材共有モデル」事業の実証及びそれに資する取組２件（九州域内／域外での副業人材活用）

・　若者の地元定着・九州への人材還流促進のため、高校の必修授業「総合的な探究の時間」を活用した、地元企業を知る機会創出に資する取組（探究学習プログラム「Locus」の活用）

・　「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」（事務局：福岡県、JETRO 福岡、九州経済産業局）、大学等との協働による、留学生の域内就職増に資する取組（合同勉強会の開催、インターンシップ企画・検討等）

<交流・関係人口拡大>　【*KPI*】地域実践事業 x3 エリア

・　地域資源の発掘・活用による、交流・関係人口拡大に向けた取組（特定エリアでのモデルづくり、九州国立博物館の活用 等）

・　九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、北九州市・下関市の広域連携を軸とした地域ブランド向上に向けた活動（関門連携委員会）

・ 九州国際医療機構（KIMO）による九州経済の活性化推進（医療渡航者の九州誘致、外国人患者への医療提供に係るリスク軽減、外国人患者受入れを行う医療機関拡大）

<幸せコミュニティ推進>

・ 女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」研修会の第 11 期（2025 年度）活動テーマを〝健康経営”とし、研修会を通じた企業の健康経営推進や社会課題の解決に向けたプラン・提言実施

<各地域委員会>

・ 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業

・ 会員意見交換会や視察会等を通じ、各地域の産業構造の特色に応じた課題抽出と九経連活動への反映
・ 会員相互の交流・連携の促進

Ⅳ　理事会・総会等の主要スケジュール

2025年

5 月	第 181 回理事会（12 日、福岡市）
	第 47 回九州地域戦略会議（28～29 日、福岡市）
6 月	第 65 回定時総会・第 182 回理事会（11 日、福岡市）
8 月	第 22 回九州地域戦略会議 夏季セミナー（5～6 日、鹿児島市）
9 月	第 183 回理事会、理事・審議員合同会議（12 日、福岡市）
10 月	第 67 回西日本経済協議会 総会（16 日、京都市） 及び要望活動（11 月 13 日、東京）
	第 48 回九州地域戦略会議（27～28 日、名護市）
12 月	顧問会（11 日、東京）

2026年

1 月	正副会長･委員長会議（28 日、福岡市）
3 月	第 76 回九州経済懇談会（経団連との懇談会）（12 日、福岡市）
	第 184 回理事会（27 日、福岡市）

（付 1）　活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局）

Ⅰ．委員会

(1)　資源エネルギー・環境委員会

2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、GX 推進により九州における脱炭素に寄与するとともに、産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組みを展開する。

■脱炭素社会の早期実現に向けた意識醸成や協業支援等の取組み

①会員企業の取組み状況把握および課題集約
②情報発信および脱炭素取組支援
③脱炭素技術を有する企業と自治体のマッチングイベントの共催等を通じた地域脱炭素化支援
④ESG 投融資拡大に向けた金融機関の取組み支援

■電力需要増加を見据えたエネルギー安定供給に資する取組み

①電化・メタネーションガス・蓄電池等の社会実装に向けた情報発信と協業支援
②再エネや原子力など脱炭素電源の最大限活用に資する情報の発信、要望活動等
③再エネに係る新技術の調査・研究、および再エネ産業化推進支援

■ｻｰｷｭﾗｰｴｺﾉﾐｰ（循環経済）の実現に向けた取組

①サーキュラーエコノミーの意識啓発に資する講演会等を通じた情報発信
②動静脈産業連携の支援

(2)　産業振興・デジタル推進委員会

次世代ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ産業の育成や九州ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ･ｴｺｼｽﾃﾑ構築、産学官連携･地域連携による共創や人材育成等を通じて、九州における戦略産業の振興と持続的な成長実現並びに地域課題の解決を目指す。

■「新生シリコンアイランド九州」の実現
～半導体応用産業と半導体関連産業を中心としたビジネスエコシステムの構築とまちづくり等に向けた取組

① 会員企業および九州地域戦略会議と連携した課題解決の取組み推進
② 半導体ユーザー企業及び半導体関連企業の誘致・育成支援
③ 半導体応用分野（次世代自動車等）に関する調査・研究

■次世代リーディング産業の育成・誘致・振興

①次世代自動車等を戦略産業として設定し、次世代リーディング産業の育成・振興を推進

■九州イノベーション・エコシステムの構築

①スタートアップ・ベンチャー支援を通して九州イノベーション・エコシステム構築を推進

■産学官連携による課題解決促進と高度専門人材の育成支援

①産学連携懇談会などを利用した産学官の連携による課題解決の促進
②ICT 人材育成事業（インターンシップ）の推進と九州広域展開

■デジタル化･自動化等による生産性･付加価値向上

①デジタル活用、サプライチェーン可視化等の先進事例の共有、DX 支援の推進等による中堅･中小企業の生産性向上と高付加価値化支援

■広域データ連携の推進

①九州における広域データ連携のあり方検討

(3)　地域共創委員会

地域の社会課題解決と魅力向上による「地方創生」に重点を置き、特定エリアを舞台とする実践的モデル事業と、九州の総意形成による九州一体の取組の両輪で事業を展開し、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる、持続可能な地域づくりを目指す。

■地域の「稼ぐ力」を高める

① 食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施
② 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援
③ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

■人の流れをつくる

① 地域への経済効果の最大化を目的とした「ツール･ド･九州」の開催

■共生社会（多様性）

① ジェンダー主流化の取組（九州地域戦略会議プロジェクト、女性管理職ネットワーク）

■地域の課題解決

① 人材確保・活躍推進
② 地域資源を活かした輝く地域づくり
③ 幸せコミュニティ推進/健康経営

■安心して暮らし続けられる

① 防災 DX の官民共創（災害対策高度化支援、防災対策サービス の官民共創、広域連携の仕組みづくり）

(4)　交通委員会

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、循環型高速交通網及び地域公共交通網の整備等を推進する。

■域内交通基盤の着実な整備促進

① 地域の産業振興を目的として基盤となるインフラ整備の事業化・事業の早期実現に向けた機運醸成・促進大会開催・要望活動
② 東九州自動車道、下関北九州道路等、九州域内道路網に関する効果的な大会･要望活動

■地域交通ネットワークの維持及び観光活性化に資する「九州 MaaS」プロジェクトの実行

① 地域経済の活性化につながる取組の推進
(観光･イベント等地域のコンテンツとの連携、インバウンド誘致等)
② 官民共創事業の実施(移動円滑化、移動需要の創出、持続可能な地域交通の構築)

(5)　関門連携委員会

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めるとともに、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

■関門連携による地域活性化

① 広域連携を軸とした地域ブランド向上に向けた活動

■関門地域内の交通基盤整備

二県二市、経済団体と連携した道路整備促進

(6)　各地域委員会

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

■地域に根差した活動強化

① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
② 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じ、各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
③ 会員相互の交流・連携の促進

2．　九州地域戦略会議

(1)　九州地域戦略会議

官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。メンバーは下記の通り。

九州地方知事会（各県知事）、九経連会長及び会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長及び会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長

・テーマ：「次期九州創生ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ」の検討他
・第 47 回：2025 年 5 月 28･29 日 ／福岡県
・第 48 回：2025 年 10 月 27･28 日／沖縄県

(2)　夏季セミナー

産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。メンバーは下記の通り。

九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済４団体の会員企業　等

・第 22 回夏季セミナー：2025 年８月５～６日／鹿児島市

3．　懇談会

(1)　沖縄連携フォーラム

沖縄県経済団体会議との共催により、九州･沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

(2)　九州経済懇談会

日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国並びに九州地域が当面する課題について、意見交換する。（2026 年 3 月 12 日／福岡市）

(3)　九州経済を考える懇談会

九州の経済団体※の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年２回程度）。

※九州の経済団体：九経連、九州ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

(4)　産学連携懇談会

九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。（2025 年４月 23 日／福岡市）

・主要テーマ：
「知」の拠点強化、共同研究･ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ、課題解決型ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、地方創生、産業活性化、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化、九州に求められる人材育成･確保 等

(5)　西日本経済協議会

（2025 年度幹事：（公社）関西経済連合会
九経連内担当：総務国際部）

北陸、中部以西の６つの経済連合会※が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取組を展開するとともに、国等に要望する。

※6 つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、（一社）中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

・総会：2025 年 10 月 16 日／京都市
・要望：2025 年 11 月 13 日／東京

(6)　九州女性の会

「九州で働く女性が、管理職や経営者として、九州ひいてはグローバルで活躍できるための資質を高める」を方針として掲げ、九経連会員の女性経営者及び女性管理職による勉強会や交流等を実施する(月１回)。

4．　事務局

(1)　全体的な取組

① 九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・経済団体との間で締結した MOU（11 カ国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。
・「九州プロモーションセンターin ハノイ(KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築･実践
・オール九州の官民による海外ミッション派遣

② これまで以上に地域の情報を把握し課題解決につなげるため、各地域に「地域参事」（駐在担当者）を設置。地域課題と九州全体の戦略･動きを共有し、各委員会や九州地域戦略会議等を通じて実践的活動に取り組む。

(2)　会員サービス

① 事務局のデジタル化、並びにペーパーレス化を更に推進し、電子メールによるタイムリーな情報発信を行うとともに、各種案内への申込手続き等の利便性向上を図るなど会員との相互連絡を円滑にする。
② セミナーや懇談会等会員交流の場を増やしてビジネス創出につなげるなど、会員同士並びに事務局間の相互理解と一体感を醸成する。
③ ジェンダーギャップ解消と女性の活躍促進を図るため、九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者及び女性管理職が参加）の活動を支援する。
④ 九経連の取組に関するアンケート等を適宜実施し、会員の声を事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。

(3)　広報

① 報道機関に対して、定期的、かつタイムリーな情報提供を行うなど PR 強化を図る。
② ホームページや新着情報メールサービスの活用等により、活動実績や予定等をスピーディに提供することで発信力を強化し、本会活動への参画者増につなげる。
③ 九経連四季報を発行。特集ページを中心とした内容の充実などホームページとの差別化を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

（付２）　関連協議会等

(1)　下関北九州道路建設促進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現に向けた活動を実施する。

(2)　東九州軸推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等に向けた活動などを実施する。

(3)　九州航空宇宙開発推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 産業振興部）

九州地域の航空機産業の育成･拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援などを実施。2022年に策定した第３次アクションプランを一部見直した上で、九州における航空･宇宙産業の新たなステップに向けて取組を展開する。

(4)　九州国際医療機構

（代表理事：中村雅史・九州大学病院長
事務局：九経連 地域共創部）

九州の医療機関と産学官の連携により、外国人医療渡航者の九州誘致を目指す。この取組が、在留外国人へのサービス提供の質のさらなる向上へと相乗効果を生み、そして観光等への波及効果へとつなげることで、九州経済の活性化に寄与することを目指す。

(5)　九州の食輸出協議会

（会長：弓場秋信・弓場貿易㈱社長
事務局：九経連 地域共創部）

九州の生産者･食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物及び食品等の輸出拡大を目指す。

(6)　九州経済国際化推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 総務国際部、九州経済産業局）

九州経済のグローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県･政令市、企業等との連携を図り、タイへの経済交流ミッションの派遣や、環黄海経済･技術交流会議（九州・中国・韓国の３カ国会議）の開催など、海外との経済交流事業を実施する。

(7)　九州･沖縄地方創生･産業振興懇談会(仮称)

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、
九経連 経営企画室）

2024 年、第 13 回「九州・沖縄地方産業競争力協議会」において、同協議会の今後の在り方を議論した結果、本年新たに「九州･沖縄地方創生･産業振興懇談会（仮称）」として再編し、第１回目の懇談会を実施する。九州地域戦略会議と相互に補完･連携しながら、九州･沖縄の地方創生、産業振興に資するよう、情報共有･意見交換を行う。
※Earth 戦略Ⅱは 2025 年をもって終了し、
後継の戦略は策定しない。

(8)　九州ＤＸ推進コンソーシアム

（共同代表：九州経済連合会 会長、九州大学 総長
事務局：九経連 産業振興部、九州大学、福岡県、
デロイトトーマツグループ）

域内の自治体や企業、大学等、産学官金の関係者が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

(9)　九州・沖縄文化力推進会議

（事務局：福岡県、九経連 地域共創部）

九州・沖縄・山口各地域における文化活動の推進と文化の発信による地域活性化に官民が連携して文化プログラムを実施する。特に、国内外から訪れる観光客に対し、九州・沖縄・山口の各種文化をＰＲしていくとともにエリア内の周遊を促す。

(10)　九州大学学術研究都市推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州大学学術研究都市推進機構
九経連内担当：地域共創部）

九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。

(11)　知的財産権研究会

（事務局：九経連 産業振興部）

九州の産学官が一体となって知的財産権法をはじめとする様々な経済法の現状と課題について検討するため、毎月１回研究会を開催する。

(12)　九州エネルギー問題懇話会

（委員長：杉田浩二・九経連副会長）

エネルギー問題や地球環境問題について、情報や知識の交流を行い、多くの方々に身近な問題として考えていただくことを目的に、講演会や見学会などの諸活動を実施する。

（13）(一社)九州 MaaS 協議会

(会長：九州経済連合会　会長
　事務局：九経連 地域共創部、西鉄 、JR 九州）

2023 年度に九州地域戦略会議で策定した「九州 MaaS グランドデザイン」の実現に向けて 2024 年 4 月に設立。九州 7 県と各県で事業を展開する陸・海・空の交通事業者他約 100 を超える企業・団体により構成される、国内初の広域連携・官民共創による MaaS の実行組織。地域交通ネットワークの利便性と持続可能性の向上に向けた取り組みを、官民が一体で推進する。

（14） (一社)ツール・ド・九州

(理事長：九経連専務理事、
大会実行委員会会長：九経連会長）

九州地域戦略会議において、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会のレガシーの持続的継承や九州でのサイクルツーリズムの推進、九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」の開催を決定し、その運営組織として 2022 年 3 月に設立された。“Make Kyushu Sustainable～九州の持続可能な未来のために～”を大会の基本方針とし、環境への配慮、DX 推進、若者の探究学習など SDGs の観点から、産官民が一体となって九州地域活性化に資する本大会ならではの取組を実施。

（15）九州・大学発ベンチャー振興会議

(共同議長：九州大学 総長、九州経済連合会 会長
　事務局　：九州ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、
　　FFGﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ、
　　九経連 産業振興部）

「優れた大学なくして地方の発展なし」という基本認識のもと、九州の産学が一体となって、地域経済発展の駆動力としての大学発ベンチャーを振興することを目的として、大学・経済界・ベンチャーキャピタルをつなぐ役割を果たし、大学シーズの速やかな実用化を支援する。

報告事項２－２

2025年度 収支予算

2025年4月1日から2026年3月31日まで　　（単位：円）

科　目	2025年度 予算額（A）	2024年度 予算額（B）	増 減 （A）-（B）	備 考
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
基本財産収入				
特定資産運用収入				
特定資産運用収入	850,000	500,000	350,000	金利上昇
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,500,000	0	新入会目標30社
会費収入				
会費収入	295,070,000	295,520,000	△ 450,000	入退会予測差引後
雑収入				
受取利息収入	100,000	10,000	90,000	
その他収入	1,350,000	1,350,000	0	事務委託費等
事業活動収入計（A）	**298,870,000**	**298,880,000**	**△ 10,000**	
２．事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	106,900,000	104,700,000	2,200,000	定期昇給
総会役員会費支出	8,000,000	7,200,000	800,000	会場費、パーティ費等増
会員懇談会費支出	5,300,000	5,300,000	0	
委員会費支出	49,700,000	48,700,000	1,000,000	半導体強化
調査費支出	3,700,000	4,800,000	△ 1,100,000	タイ訪問団、農業調査等
刊行費支出	4,900,000	4,800,000	100,000	
旅費交通費支出	9,400,000	9,400,000	0	
通信費支出	2,300,000	2,200,000	100,000	
図書資料費支出	500,000	1,000,000	△ 500,000	定期購読見直し
加盟団体費支出	2,700,000	2,500,000	200,000	
特別事業費支出	20,200,000	20,000,000	200,000	「ツール・ド・九州」事務所運営費
研修費支出	300,000	500,000	△ 200,000	
交際費支出	500,000	500,000	0	
印刷費支出	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	ペーパレス推進
消耗品費支出	300,000	500,000	△ 200,000	
諸税支出	300,000	300,000	0	
雑支出	200,000	200,000	0	
事業費支出計（B）	**217,200,000**	**215,100,000**	**2,100,000**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	19,000,000	0	
退職給付費支出	19,800,000	0	19,800,000	必要額
福利厚生費支出	24,100,000	25,900,000	△ 1,800,000	社会保険料積算
家賃支出	36,000,000	35,900,000	100,000	
備品費支出	10,800,000	10,000,000	800,000	ライセンス料追加
修繕費支出	3,000,000	11,000,000	△ 8,000,000	間仕切工事終了、機器保守料
管理費支出計（C）	**112,700,000**	**101,800,000**	**10,900,000**	
事業活動支出計（D）=（B）+（C）	**329,900,000**	**316,900,000**	**13,000,000**	
事業活動収支差額（E）=（A）-（D）	**△ 31,030,000**	**△ 18,020,000**	**△ 13,010,000**	

（単位：円）

科　目	2025年度 予算額（A）	2024年度 予算額（B）	増 減 （A）-（B）	備 考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給与引当預金取崩収入	19,800,000	0	19,800,000	退職給与費に充当
運営準備引当預金取崩収入	20,000,000	20,000,000	0	特別事業費に充当
投資活動収入計（F）	**39,800,000**	**20,000,000**	**19,800,000**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	10,000,000	9,000,000	1,000,000	必要額を繰入
減価償却引当預金取得支出	1,500,000	900,000	600,000	必要額を繰入
什器備品取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	間仕切工事等終了
投資活動支出計（G）	**11,500,000**	**14,900,000**	**△ 3,400,000**	
投資活動収支差額（H）=（F）-（G）	**28,300,000**	**5,100,000**	**23,200,000**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	―	―	―	
財務活動収入計	―	―	―	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	―	―	―	
財務活動支出計	―	―	―	
財務活動収支差額	―	―	―	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出（I）	0	0	0	
当期収支差額（J）=（E）+（H）-（I）	**△ 2,730,000**	**△ 12,920,000**	**10,190,000**	
前期繰越収支差額（K）	**68,886,984**	**74,373,824**	**△ 5,486,840**	
次期繰越収支差額（L）=（J）+（K）	**66,156,984**	**61,453,824**	**4,703,160**	